

令和 7 年度

入 学 試 験 問 題

入 学 試 験 問 題 解 答 例

午前入試（国語，算数，理科）

午後入試（国語，算数，理科，社会）

(中 学 校)

午前入試	国 語	1	～	16
	算 数	17	～	24
	理 科	25	～	32
午後入試 適性問題	国 語	33	～	38
	算 数	39	～	41
	理 科	42	～	47
	社 会	48	～	59
午前入試	解答例	62	～	64
午後入試 適性問題	解答例	65	～	68

一 次の文章を読んで、後の〔問一〕～〔問十〕に答えなさい。ただし、字数制限のある問題は、すべて句読点や括弧なども一字に数えます。

ぼくは子どものころからずっと本のある生活をしてきました。姉や兄がおもしろがって読み方を教えるものだから、二、三歳のころから本が読めるようになり、生意気にもその年頃で『小学三年生』なんかを読んでいました。読書というより、本の形をしたものを見るのが好きで、地図帳や列車の時刻表など、いつまでも飽きずに眺めていたものです。

小学校では二年に上がる直前に大きな病気をして、二年間も入院するはめになり、退屈しのぎにますます本を読むようになりました。でも、そのおかげで運動とはすっかり縁遠くなり、今でも泳ぎはできません。

そう考えると、本ばかり読んでいたあのころの自分が幸せだったかどうか、(x)をひねるところもあります。そもそも、世の中には本を読むこと以上におもしろいことや、大切なことはたくさんあるし、本をほとんど読んだことがない人だってたくさんいる。読書は人間にとって、どうしても必要不可欠なものではないからです。

ただし、本を読むことによってしか得られないものがあります。

人はどんなことを考え、何を感じて、何をどう表現することができるのか。それらのことは本を読むことからしか、学べません。

A それに、人間は言葉で自分を表現する生き物ですから、その言葉には自分というものが表れるし、相手からもその言葉で判断されてしまいがちです。だからこそ、人は言葉をうまく使いこなすことが必要になってくる。言葉を増やしたり、言葉を思いのままに使えるようになるためには、やはり、本を読んで、さまざまな表現を身につけておくことが、いちばんの近道だと言えるでしょう。

そのことを踏まえ、この本を読んでいるみなさんが、決して本を読むのは嫌いではない、と仮定したうえで、^② ぼくは古典を読むことをおすすめします。

古典というと、みなさんはなんだか、古めかしい感じを受けるかもしれませんが、でも、その考えは大間違いなんです。本当にその中身が古めかしく、読むに堪えないようなものだったら、それは過去の昔に消えてしまっているはずだからです。

何百年も何千年も前の人の言葉や書物が、いまだに読み継がれているのは、その内容がちつとも古くないからです。現代にそのまま通じるものがあるからなんです。これは音楽に置き換えてみると、わかりやすいと思います。モーツァルトやベートーベンの音楽を聴いて古めかしいと思いますか？^{だれ} 誰も思わないでしょう。二百年も前に彼らが作った音楽は、現代人であるぼくらを感動させる力を持っています。

B つまり、古典にはどんな時代でも通用する^③「普遍性」があるんです。「ホンモノ」であるからこそ、古典は現代まで読み継がれてきました。ぼくは第四章で、今の時代は「ニセモノ」の情報があふれている、と指摘しましたが、古典に触れて「ホンモノ」とはどういうものかを知っておけば、自分なりの判断基準を持てるようになる。ものの考え方がブレなくなるんですね。

~~~~~  
 C  
 そもそも、古典といっても、昔の人とぼくたちが考えていることは、ほとんど変わりません。親子の情愛や恋愛感情、嫉妬や裏切りの感情などは昔も今も同じで、そうした主題の多いギリシャ悲劇やシェークスピア劇が、いつまでも上演されるのはそのせいです。

似た例は日本の古典から見つけ出せます。七世紀後半から八世紀後半にかけて編まれた『万葉集』<sup>④</sup>には、恋をテーマにした歌がたくさんあります。そのひとつを抜き出してみましょう。

今更に恋ふとも、君にあはめやも。寝る夜をおちず、夢に見えこそ

「今になって、あなたを恋しく思っても、。それならば、毎晩、夢の中だけでも会いたい」

というのが現代語訳ですが、今どきの女の子が書いた詩だと言っても、誰も疑わない内容です。この歌詞で宇多田ヒカルさんがラブバラードを歌ったら、大ヒットしてしまうかもしれません。

現代的といえ、最近、ぼくは初めて文楽を見たんです。上演されていたのは近松門左衛門（一六五三―一七二四）の『女殺油地獄』でしたが、人間のあさましさを、見事なまでに人形劇で表現したその迫力には、ほとほと感心しました。この芝居がたいへんに現代的なんです。

主人公は気が弱いくせに、遊び人の若者で、義理の父親が自分に遠慮がちなのをいいことに、店の売上金を持ち出しては遊びほうけている。道楽息子にほとほと（y）を焼いた両親は彼を勘当するんですが、結局、わが子がかわいいものだから、同じ町内に住む顔見知りの奥さんを通して、彼にお小遣いを渡します。

ところが主人公は遊ぶカネに困って借金をし、その返済を迫られて、顔見知りの奥さんにカネを無心する。しかし、それを断られ、せっぱ詰まった彼は奥さんを殺してカネを奪い、最後は悪事がばれて刑場に引き立てられる――。

こんな話なのですが、登場人物たちは、自分の思うようにならないと家庭内暴力を振るう息子、そんな息子を甘やかす母親、二人に挟まれて（z）する父親と、そのまま、現代の家庭に置き換えでもおかしくない人たちばかりです。

ですから、古典に妙な苦手意識を持つ必要はありません。「古典といっても、自分たちと同じことを考えている人が書いているんだ」ぐらいの気楽な気持ちで接してみたらいいんです。ヘンに敷居を高くすると、古典は縁遠いものになってしまう<sup>⑤</sup>。それは、もったいないことだし、第一、損です。

だって、すばらしい絵を見たり、音楽を聴いたり、芝居を見たりして、それにまったく感動できないのはつまらないし、悲しいことじゃないですか。

ぼくたちは、「ホンモノ」に出会ったとき、それに感動できる受け皿としての能力を、自分なりに作っておいたほうがいいし、そのほうが絶対により豊かな人生を送れます。「ホンモノ」とはこういうものだ、という感受性を養うためにも、ぜひ、古典に親しむ機会を作ってみてください。

（金田一秀穂『15歳の日本語上達法』より）

(注1) 第四章……………本文は第五章である。

(注2) 勘当する……………親子の縁を切る。

〔問1〕 文中の（x）、（y）に身体の一部を表す漢字一字を入れて、慣用句を完成させなさい。

〔問2〕 文中の（z）に入る言葉として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

ア ウロウロ      イ オロオロ      ウ キヨロキヨロ      エ ゴロゴロ

〔問3〕 ……線部A「それに」、B「つまり」、C「そもそも」の働きとして最も適当なものを、次のア～カの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

ア 物事を、仮定の話として説明している。  
 イ 物事を、ことの起こりから説明している。  
 ウ 前に述べたことの、例外を示している。  
 エ 前に述べたことに、物事を付け加えている。  
 オ 前に述べたことと、対立する物事を示している。  
 カ 前に述べたことを、言いかえまとめ直している。

〔問四〕 ―― 線部 a 「あさましさ」、b 「無心する」、c 「せっぱ詰まった」の意味として最も適当なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

a 「あさましさ」

ア 本性<sup>ほんしょう</sup>をかくしたままでうまく立ちまわるさま  
イ 世間の目を気にしてひかえめにふるまうさま  
ウ 品性や態度がいやしくて見るにたえないさま  
エ 考えが浅くおろかで周囲にとけこめないさま

b 「無心する」

ア 説得してうまく手に入れようとすること  
イ すきをねらってこっそりぬすみとること  
ウ 相手の弱みにつけこんでおどしとること  
エ 甘えたり無理を言ったりしてねだること

c 「せっぱ詰まった」

ア 追いつめられて身動きがとれなくなったさま  
イ 望みや期待がまったく失われてしまったさま  
ウ 他人から心身に激しい打撃<sup>だげき</sup>を与えられたさま  
エ 自分だけが正しいと思いこんでしまったさま

〔問五〕——線部①「本を読むことによってしか得られないもの」とありますが、それはどのようなものですか。次のア～カの中から二つ、選びなさい。

- ア 病気で入院したときでも、退屈せずに過ごすための知恵。
- イ 人がどのように物事を感じ、表現するかについての知識。
- ウ 相手が使った言葉で、その人間性を判断するための能力。
- エ 言葉をうまく使いこなすために必要な、さまざまな表現。
- オ さまざまな表現を、手っ取り早く身につけるための手段。
- カ 本を読むことが、楽しいと感じるようになるための方法。

〔問六〕——線部②「ぼくは古典を読むことをおすすめします」とありますが、その理由を次のようにまとめました。空欄に入る言葉を、文中から抜き出して答えなさい。ただし、（ i ）は四字、（ ii ）は十八字とします。

古典は「（ i ）」であり、それに触れることによって、（ ii ）から。

〔問七〕——線部③「普遍性」とありますが、その対義語を、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 確実性
- イ 一般性<sup>いっぽんせい</sup>
- ウ 特殊性<sup>とくしゅせい</sup>
- エ 不変性

〔問八〕——線部④「万葉集」とありますが、その説明として適当でないものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 清少納言<sup>せいしょうなごん</sup>が編集した作品だと伝えられている。
- イ 成立時期には万葉がなを用いて書かれていた。
- ウ 日本に現存する最古の歌集だと言われている。
- エ 現代に生きる人間と似た感情がよまれている。

〔問九〕 文中の  に言葉を補って、現代語訳を完成させなさい。ただし、解答は十字以内とします。

〔問十〕——線部⑤「それは、もったいないことだし、第一、損です」について、

(1) 「それ」の示す内容を、文中の言葉を用いて、二十字以内で答えなさい。

(2) 筆者が「損です」というのはどうしてですか。文中の言葉を用いて、十五字以上二十五字以内で二点答えなさい。

〔二〕 次の文章を読んで、後の〔問一〕～〔問十〕に答えなさい。ただし、字数制限のある問題は、すべて句読点や括弧なども一字に数えます。

I

「……失敗だった」

わたしは、顔を伏せていました。

「あれは、わたしに責任がある。子どもを疑ってはいけないとは思っていても、心のどこかで疑っていたんだろうな。クラスの子たちは、そんな担任の気持ちを感じていた。だから、あんなつぶやきが出たんだ」

学級会が始まって、男子の誰かがつぶやきました。

「徹子じゃねえのか」

それは小さな声でした。でも、静かな教室の隅々まで届くには、十分な声でした。

それまで黙っていた圭子が、すかさずいいました。

「徹子ちゃんじゃない！ 徹子ちゃんは、そんなことしない！」

それに対して、徹子は何もいわず、うつむいていました。そして、教室をとびだしていきました。わたしは、あわててあとを追いかけてきました。

「子どもとの信頼関係を築く——いうのは簡単なんだけどね。ほんとうに難しい。そのころのわたしは、もう三十歳をこえていたのに、まだまだ教師としては□ 熟もいいところだった」

「徹子さんを追いかけて、どうしたんですか？」

「謝った。ひたすら謝った。徹子だけじゃない。クラスの子たちにも、頭を下げた」

「まあ、あなたが謝るなんて……」

妻は驚いています。

わたしは、今まで謝ってもらったことがあったかしら、というように。

わたしは、<sup>①</sup>藪からヘビが出てこないうちに、話を進めることにしました。

わたしは、証拠もないのに人を疑ってはいけないことを、子どもたちというより、自分にいいきかせるようにクラスで話しました。

その場はなんとかおさまりましたが、誰が靴をかくしたかはわかりません。

<sup>②</sup>学級会以来、圭子からも徹子からも笑顔が消えていきました。

圭子は、パンダのついた靴をはくことをやめました。しかし、靴隠しは、それから続きました……。

「とりあえず、話はここまでにするが、何かききたいことはあるかな？」

教室で授業をしているときのような口調でいうと、妻がずっと手をあげました。

「圭子さん、いつもどんな格好で登校してきましたか？」

わたしは、あまりに突拍子もない質問だったので、面食らってしまいました。

「それが、靴隠しと何か関係あるのかい？」

妻が、うなずきます。

わたしの記憶にある圭子は、いつもスカートをはいていました。

そういうと、また、妻は突拍子もないことをききました。

「圭子さんがズボンをはきはじめたのは、そのころですか？」

そのとき、わたしは、妻が何をききたいのか、すぐには理解できませんでした。

でも、すぐに思い出しました。

いつもスカートををはいていた圭子が、靴隠しが起こる数日前から、急にズボンをはきはじめたことを。

妻にきかれるまでは忘れていましたが、圭子が突然ズボンをはきだして不思議に思ったことを、わたしは記憶のどこかにしまっていました。

「スカートとズボンのことが、何か関係あるのか？」

妻は、微笑んだまま、別の質問をしてきました。

「もう一つ、教えてください。圭子さんは読書好きの子だったって、さっきいいましたね。どんな本を読んでいたか、覚えていますか？」

「そりゃ、物語とか伝記とか——。わかるだろ。読書が好きな子なんだから」

「図鑑なんて、読んだりしていませんでしたか？」

「いくら読書好きでも、図鑑は、あんまり読まないだろ……」

そこまでいって、また、わたしは思い出しました。

あるとき、圭子が下校時刻になっても図書室で本を読んでいたのです。早く帰るようにいうと、圭子はさっと読んでいた本をかくしました。『動物百科』という書名が一瞬見えて、ずいぶん珍しい本を読むもんだと思ったものです。

③ そのころが……。

「ああ、そういえば、靴隠しが起こったところだったかな。圭子が動物図鑑を読んで、珍しいと思ったな。ただ、そのころは子どもたちの間でパンダが流行っていて、圭子もパンダのことを調べているんだと思ったんだ」

「あなたは、ほんとうに子どものことに関しては、記憶力がいいんですね」

妻が苦笑します。

「わたしたちの結婚記念日、覚えていますか？」

「覚えてるさ。十二月の二十八日だろ」

予想された質問なので、わたしはすぐに答えました。

「西暦何年ですか？」

「……………」

「覚えてないんですね？」

「——紫陽花あじさいが、きれいだな」

「……………」

④ 気まずい沈黙ちんもくが流れました。

「で、ほかにききたいことはないのかい？」

「ええ——」

そして妻は、わたしを（ x ）目で見ています。

「少し安心してるんですよ。あなたが、クラスの子どもたちのことを、とてもよく覚えていることに。当分、認知症にんちしやうの心配はありませんね」

わたしは、（ y ）表情で、その言葉を聞きました。

「で、圭子さんのことですけど、これは、いじめでもなんでもありません。それは、あなたにももうわかってるんですよ？」

……驚きました。

たしかに、妻のいうとおり。わたしは、靴隠しbてんまつの顛末を、すべて知っています。

でも、ここまでのわたしの話だけで、どうして妻にすべてがわかったんでしょう？

「あなたは、わたしがお茶を持ってくるまで、ぼんやり雨の庭を見ていました。この梅雨つゆの季節が、あなたに靴隠しの話を思い出させたのでしょ？」

いわれてみれば、そのとおりです。

「あなたの口から聞かせてくれませんか。事件が、どんなふうに解決したかを——」

初めての靴隠しがあつてから、圭子の靴は、一週間に一度くらいの割合で、なくなりました。

わたしは、そのたびに学級会を開いたり、家庭と連絡れんらくをとったり、ほかの先生に相談したりと、必死で解決策を練りました。

なにより、徹子と圭子が笑顔を取りもどせるように心を配りました。

圭子が新しい靴をはいてきてしばらくは、おさまるのですが、それでも、靴隠しは続きました。

そして、梅雨に入ってから数日後——。

とうとう靴隠しの犯人がわかりました。

## II

「おまえは、ほんとうにわかってるのかい？」

わたしが妻にきくと、

「ええ。犬だ、つたんでしょ」

妻が微笑みました。

そう。正解です。

圭子の靴をかくしつづけていたのは、犬だったのです。

「しかし、よく、わたしの話だけで、犬が犯人だって、わかったな」

「手がかりは、ありましたよ」

妻は、まるで探偵が謎解きをするかのように、（ z ）口調で話しはじめました。

「まず、学校が建っている場所から想像しました。周囲に空き地の多い学校でしたわね。そして、転校してきたり、転校していったりする子が多かった……」

わたしは、うなずきます。

「転校にともなうのは、引っ越しです。引っ越しのとき、飼っていたペットを連れていけない家が あったら——」

「無責任な家は、捨てるんだろーな」

「哀しい話ですが、そうなんでしょうね。そして、そんな犬の一匹を、圭子さんは空き地で見つけた。ほんとうは家で飼いたかったのだけれど、家で反対された。しかたなく圭子さんは空き地で、家族には内緒で、犬を飼いはじめた」

「よく、そこまで想像したな」

「手がかりは、動物図鑑とスカートです。物語を読むのが好きな圭子さんが、その時期は動物図鑑を読んでいたんでしょう」

「ああ、それで犬を飼ってるって思ったのか。でも、スカートが何かの手がかりになるのか？」

「あなたは男だから、わからないんでしょうね。スカートで空き地に入ると、草でチクチクするんですよ。だから、圭子さんはズボンををはきはじめた」

なるほど……。

「あるとき圭子さんは学校の帰り、いつものように犬のところへ行って、自分のかじられてボロボロになった靴を見つけた。圭子さん自身もまさか犬とは思ってなかったでしょうから、驚いたでしょうね。でも、圭子さんは、その靴を持って家に帰ることはできなかったんです」

「どうして？」

「持って帰れば、靴がボロボロになっている理由をきかれて、内緒で犬の世話をしているのが、ばれてしまいますから」

「新しい靴に変わると、しばらく靴隠しがおさまったのは——」

「その犬は、年をとっていて嗅覚が衰えていたのでしょう。だから、新しい靴のゴムや布のにおいで、犬には圭子さんのおいがわからなくなっただけでしょう」

⑤ 犬が靴隠しの犯人だとわかったのは、梅雨の雨がしとしと降っている日でした。

圭子の下駄箱に向かって、乾いた土間の上に犬の足跡が点々となっていたのです。

放課後、彼女を呼んで犬の話をききました。最初は目をそらして黙っていましたが、わたしは彼女が口を開くのを辛抱強く待ちました。そして、わたしが怒ってないこと、犬を助けたいこと、何より

圭子と徹子に笑顔がもどってきてほしいことがわかったのか、内緒で犬を飼っていることを教えてくれました。

「徹子ちゃんが疑われてるのに黙ってて、ごめんなさい……」

最初の学級会以降、圭子の笑顔が消えたわけがわかりました。黙っているのが、つらかったのです。

「でも、空き地で犬を飼ってるってバレたら、犬が殺されるって思ったから……」

つぎの日の朝、みんなの前で圭子は徹子に謝りました。涙なみだを浮かべながらひたすら「ごめんね」をくり返す圭子に、徹子は

「もういいよ」

と、少し照れたように微笑みました。その笑顔を見て、圭子も涙でぐしゃぐしゃの顔で微笑みました。そうやって微笑んでいる二人は、給食がなかなか食べおわらず、困って顔を見合わせているときに思い出させました。

⑥「教師は刑事けいじじゃない。——若いころ、ベテランの先生にいわれた。その先生自身は、刑事が泣いて逃げだすような顔をしていたんだけどね。そのときは、どうしてそんな当たり前のことをいうのか、わからなかった。でも、靴隠しが起きて、わかったよ。教師は、子どもを信用するところから始めなきゃいけないんだ」

春、子どもたちに初めて会ったとき、一年間楽しくやれると感じました。

それなのに、わたしは、子どもたちだけでなく、そう感じた自分も信じていなかったのです。

「先生ってのは、まったく難しい仕事だよ」

しかし、それだけに、やりがいのある仕事でした。

(はやみねかおる『ぼくらの先生!』より)

〔問一〕 文中の□に入る、否定の意味を持つ漢字を、一字で答えなさい。

〔問二〕 〓 線部 a 「すかさず」、b 「顛末」の意味として最も適当なものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

a 「すかさず」

ア 間をおかず

イ ごまかさず

ウ さけぶように

エ 怒ったように

b 「顛末」

ア まだ世間には知られていない情報

イ 物事の初めから終わりまでの事情

ウ 他者から伝え聞いたくわしい内容

エ ずっと心の中にかくしていた秘密

〔問三〕 〓 線部①「藪からヘビが出てこないうちに」とありますが、この言い回しのもとになっている、「藪をつついて蛇<sup>へび</sup>を出す」という慣用句の意味として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

ア 事前の準備もくたしぬけに物事を始めること

イ 同じような出来事が次から次へと起こること

ウ 失敗しないよう前もって十分用意しておくこと

エ 余計な手出しをしてかえって災<sup>わざわ</sup>いを招くこと

〔問四〕——線部②「学級会以来、圭子からも徹子からも笑顔が消えていきました」とありますが、二人の「笑顔が消え」たのはどうしてですか。解答欄の形式に合わせて、それぞれ十字以内で答えなさい。

圭子：（ ）のに、（ ）ことがつらかったから。

徹子：（ ）のに、（ ）ことがつらかったから。

〔問五〕——線部③「そのところが……」とありますが、「……」の部分には当時の「圭子」の行動を補うことができます。「そのころ」、彼女は何をしはじめたのですか。その内容を述べた一文をⅡの文中から探し、最初の五字を抜き出して答えなさい。

〔問六〕——線部④「気まずい沈黙が流れました」とありますが、「わたし」はどのようなことを「気まずい」と感じたのですか。文中の言葉を用いて三十字以内で答えなさい。

〔問七〕文中の（ x ）、（ y ）、（ z ）に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

|     |        |   |        |   |        |
|-----|--------|---|--------|---|--------|
| ア x | 照れたような | y | むすっとした | z | やさしい   |
| イ x | 優雅な    | y | 照れたような | z | むすっとした |
| ウ x | やさしい   | y | むすっとした | z | 優雅な    |
| エ x | むすっとした | y | 優雅な    | z | 照れたような |

〔問八〕——線部⑤「犬が靴隠しの犯人だとわかった」とありますが、その手がかりとして適当でないものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

ア よくスカートをはいていた圭子が突然ズボンををはきはじめたこと。  
 イ 圭子がふだんは読まない『動物百科』を図書室で読んでいたこと。  
 ウ 学校の建っているところが周囲に空き地の多い場所であったこと。  
 エ ボロボロになった靴を圭子が見つからないように隠していたこと。

## 〔問九〕

——線部⑥「教師は刑事じゃない」とありますが、「教師」と「刑事」にはどのようなちがいがありますか。解答欄の形式に合わせて、（ i ）は文中から五字以内で抜き出し、（ ii ）は自分で考えて一語で答えなさい。

教師は（ i ） ことから始めるが、刑事は（ ii ） ことから始めるというちがい。

## 〔問十〕

本文の特徴<sup>とくちよう</sup>を説明したものとして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 風景に人物の心情を重ねることで、物語の印象を強めている。
- イ 起こった出来事を順に並べて、内容をわかりやすくしている。
- ウ 複数の人物の視点をとおして、起こった出来事を説明している。
- エ 現在の時間に過去の出来事を織りこんで、物語を構成している。

〔三〕

〔問二〕 〔問三〕 に答えなさい。

〔問二〕 次の①～⑤の俳句について、に入る最も適当な語を、後のア～オの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- ①  一輪<sup>いちりん</sup> 一輪ほどの あたたかさ
- ② をりととりて はらりとおもき  かな
- ③  に 釣瓶<sup>つるべ</sup>とられて もらひ水
- ④  程<sup>ほど</sup> 小さき人に 生<sup>う</sup>れたし
- ⑤  の ひかりの棒を いま刻む

〔注〕釣瓶……井戸水をくむために、なわを付けて下ろすおけ。

ア 梅      イ 堇<sup>すみれ</sup>      ウ 朝顔      エ 白葱<sup>しろねぎ</sup>      オ すすき

〔問二〕 次の①～⑤のに入る最も適当な語を、後のア～クの中からそれぞれ一つずつ選びなさい。ただし、同じ語を二度使つてはいけません。

- ① 明日は  晴れるだろう。
- ② そんなことを言うのは、 彼<sup>かれ</sup>らしい。
- ③ 長旅で、 おつかれになったでしょう。
- ④ 彼には  話をしてむだである。
- ⑤ それは  夢のようなできごとだった。

ア 少しも      イ いかにも      ウ まるで      エ きつと

オ いくら      カ どうして      キ さぞ      ク ぜひ

## 〔問三〕

次の①～⑮の——線部のカタカナを漢字に、漢字をひらがなに直しなさい。

- ① 興奮し顔がコウチヨウした。
- ② 細かいキヤクにしばらくられる。
- ③ 事件のインガ関係を調べる。
- ④ ゾウキ提供の意思を示す。
- ⑤ ヒヒヨウ家として生計を立てる。
- ⑥ 長い年月をへてよみがえる。
- ⑦ 中立の立場で争いをサバく。
- ⑧ 増水時の川遊びはアブない。
- ⑨ 運動会が雨でノびた。
- ⑩ 音楽をカナでる。
- ⑪ 教員が生徒を引率する。
- ⑫ 二人の関係は険悪な感じた。
- ⑬ 準備が調子よく進む。
- ⑭ ねこの額のような土地だ。
- ⑮ 青雲の志を立てる。

## 午前入試 算数

1 次の  に当てはまる数を答えなさい。

(1)  $\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \times \frac{3}{4} \div 2 = \text{$

(2)  $\frac{1}{1 - \frac{1}{\text{$ }} = 2

(3) 28 の約数をすべて足すと  になります。

(4) たて 30 cm, よこ 42 cm の長方形の紙を何枚か用いて, すき間なく, 重ならないように同じ向きに並べて正方形を作ります。できるだけ少ない枚数で正方形を作る場合, 長方形の紙は  枚必要です。

- (5) ある本を, 1 日目は全体の  $\frac{1}{5}$  を読み, 2 日目には残りの  $\frac{1}{4}$  を読み, 3 日目には 64 ページ読んだところ, 残りのページ数は全体の  $\frac{1}{15}$  となりました。この本は全体で  ページあります。

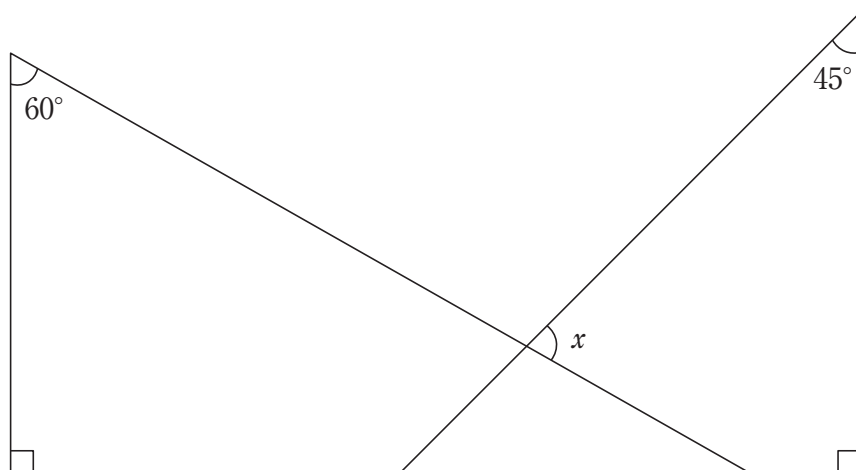
- (6) ノート 1 冊と消しゴム 1 個買うと 180 円, ノート 1 冊とボールペン 1 本買うと 190 円, 消しゴム 1 個とボールペン 1 本買うと 170 円です。このとき, ノート 1 冊の値段は  円です。

- (7) 正門前の道路に 3 m 間かくで木を植えていくと, ちょうど 15 本植えることができました。道路の両はしにも木を植えるとき, 道路の長さは  m です。



- (8) 7 を 1 以上 3 以下の整数の足し算で表す方法は  $3+3+1$  と  $3+1+3$  など順序だけが異なるものは同じものとして 1 つと数えると、全部で  通りあります。

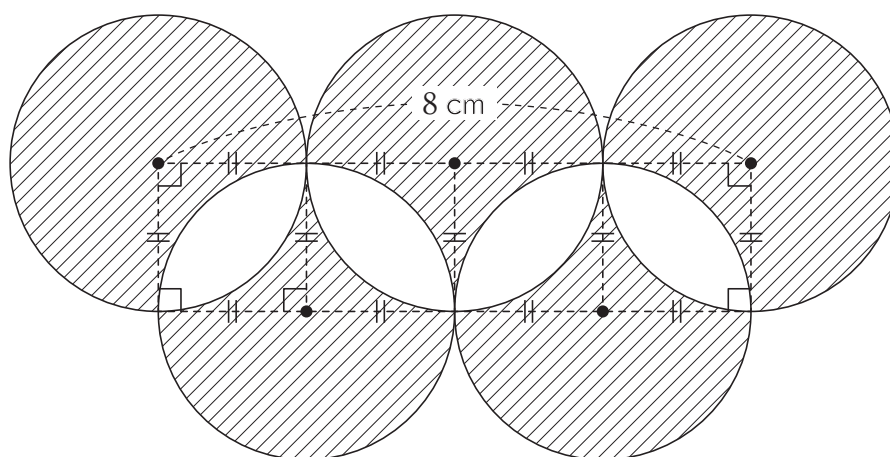
- (9) 下の図は、直角三角形を 2 つ重ねたものです。角  $x$  の大きさは   $^{\circ}$  です。



- 2 (1)  $A \star B$  は  $A$  を  $B$  で割った余りを表すとします。例えば, 7 を 4 で割ったら余りが 3 となるので,  $7 \star 4 = 3$  となります。  $105 \star \square = 25$  のとき,  $\square$  に当てはまる数をすべて求めなさい。

- (2) 静水時の速さが毎時 12 km の船が, 毎時 4 km で流れる川を A 地点から B 地点までのぼるのに 3 時間かかりました。このとき, B 地点から A 地点までくだるのにかかる時間は何時間何分か求めなさい。

- (3) 半径が 2 cm の 5 つの円が次のように並んでいます。しゃ線部分の面積を求めなさい。ただし, 円周率は 3.14 とします。



- (4) A, B, C, D, E, F の 6 人の生徒が算数のテストを受けました。6 人の平均点は 59 点でした。また, A, C, E の平均点は 65 点でした。このとき, 次の問いに答えなさい。

(ア) 6 人の合計点は何点ですか。

(イ) B, D の平均点が 48 点のとき, F は何点ですか。

- (5) 次のようにある規則にしたがって, 左からアルファベットが並んでいます。

*KINDAIKINDAIKINDAIKINDAIKINDAI...*

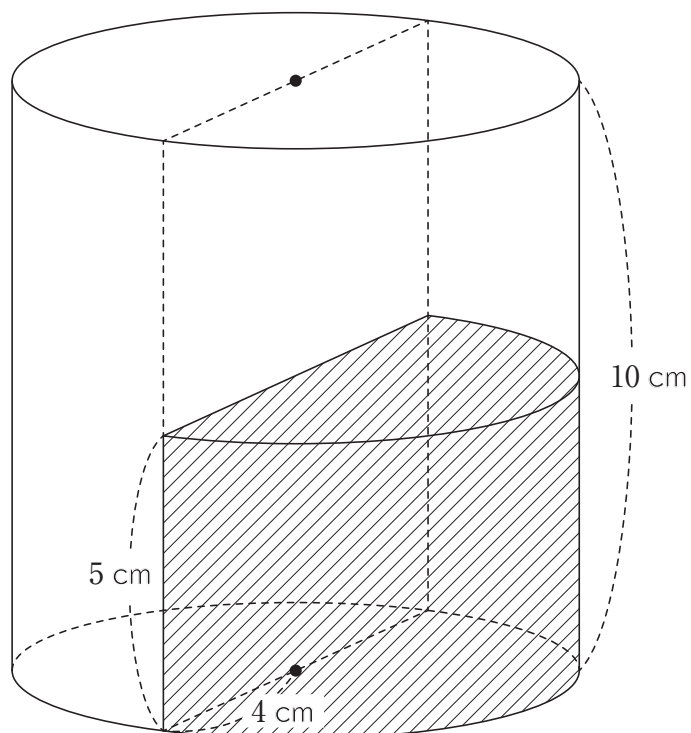
全部で 176 個のアルファベットが並んでいるとき, その中に *I* は何個ありますか。

- 3 下図のような底面の半径が 4 cm の円柱の容器があります。容器の中には厚みのない仕切り板があり、仕切り板の片側には高さ 5 cm のところまで水が入っています。次の  に当てはまる数を答えなさい。ただし、円周率は 3.14 とします。

(1) 容器に入っている水の体積は   $\text{cm}^3$  です。

(2) 仕切り板を取り外したところ、水面の高さは  cm になります。

(3) (2) の作業後に毎分   $\text{cm}^3$  の割合で水を入れたところ、5 分後に容器は水で満たされました。

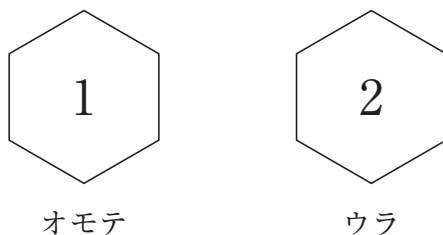


- 4 1 辺の長さが 1 cm の正六角形のカードには、(図 1) のように、オモテには奇数が、ウラにはオモテの数に 1 を加えた偶数が書かれています。

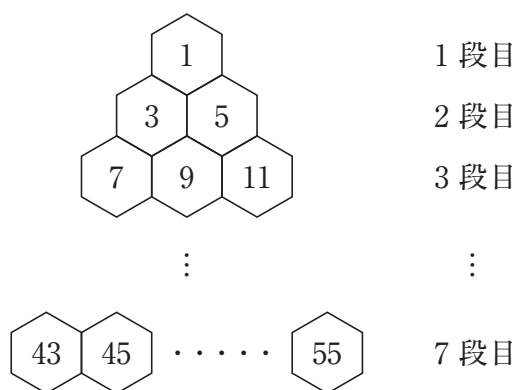
このカードのオモテを上にして、(図 2) のように、1 段目に 1 枚、2 段目に 2 枚、3 段目に 3 枚…と 7 段目まで机の上に並べます。

次の  に当てはまる数を答えなさい。

(図 1)



(図 2)



- (1) 5 段目の左から 2 枚目に見えているカードの数字は  (ア) であり、5 段目の見えているすべての数字の合計は  (イ) です。また、1 段目から 5 段目までの見えているすべての数字の合計は  (ウ) です。

- (2) 3 で割り切れない奇数のカードをすべてうらがえしました。このとき、1 段目から 7 段目までの見えているすべての数字の合計は  です。

- 5 A 市, B 市の水道料金は, 基本料金と使用水量に応じた料金を加えたものです。A 市, B 市の基本料金はそれぞれ, 2200 円, 3680 円となっており, 使用水量に応じた料金は下の表の通りです。ただし, 使用水量は  $1 \text{ m}^3$  未満を切り捨てます。なお,  $100 \text{ m}^3$  より大きい使用水量については考えないものとします。

| 使用水量                                        | A 市の $1 \text{ m}^3$ あたりの料金 | B 市の $1 \text{ m}^3$ あたりの料金 |
|---------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| $0 \text{ m}^3$ より大きく $20 \text{ m}^3$ 以下   | 20 円                        | 60 円                        |
| $20 \text{ m}^3$ より大きく $40 \text{ m}^3$ 以下  | 150 円                       | 60 円                        |
| $40 \text{ m}^3$ より大きく $60 \text{ m}^3$ 以下  | 180 円                       | 60 円                        |
| $60 \text{ m}^3$ より大きく $100 \text{ m}^3$ 以下 | 200 円                       | 60 円                        |

例えば, A 市で  $50 \text{ m}^3$  使用した場合

基本料金 : 2200 円

使用水量に応じた料金 :  $20 \text{ 円} \times 20 \text{ m}^3 = 400 \text{ 円}$

$150 \text{ 円} \times 20 \text{ m}^3 = 3000 \text{ 円}$

$180 \text{ 円} \times 10 \text{ m}^3 = 1800 \text{ 円}$

以上より, 水道料金は,  $2200 + 400 + 3000 + 1800 = 7400 \text{ 円}$ です。

- (1) A 市で水道を  $80 \text{ m}^3$  使用した場合, 水道料金はいくらですか。

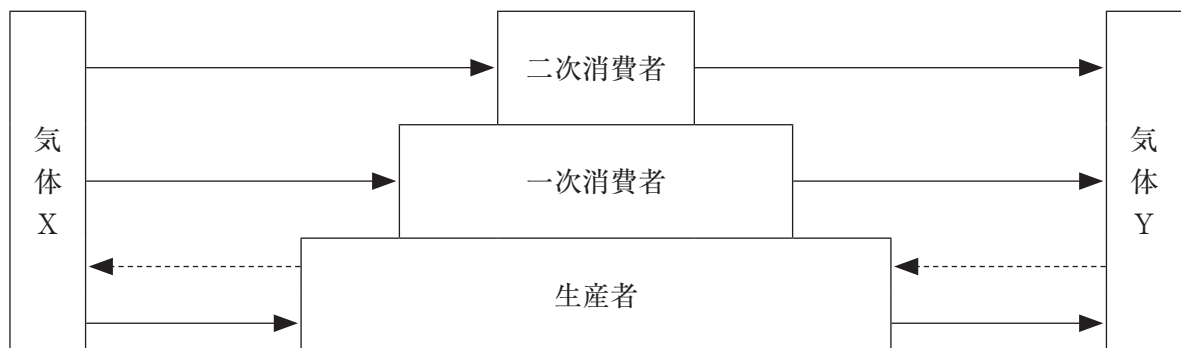
- (2) A 市で水道料金が 10000 円の時, 水道を何  $\text{m}^3$  利用しましたか。

- (3) A 市と B 市の水道料金が同じになるのは, 水道を何  $\text{m}^3$  利用したときですか。  
ただし,  $1 \text{ m}^3$  未満を切り捨てて答えなさい。

# 午前入試 理科

1 次の文章を読んで、問1～問8に答えなさい。

ある場所に生活する生物とそれを取り巻く環境<sup>かんきょう</sup>を1つのまとまりとしてとらえたものを生態系<sup>えいけい</sup>といいます。生態系の中で、生物は環境の影響を受けていますが、生物の活動も環境に影響を与えています。生物が生きていくためには栄養分が必要で、植物のようにみずから栄養分をつくり出すことができる生物を生産者、その生産者を食べることで栄養分を得る生物を一次消費者、一次消費者を食べることで栄養分を得る生物を二次消費者といいます。ある生態系での生物の個体数は、生産者が最も多く、一次消費者、二次消費者の順に、その個体数が少なくなっていくことが多いです。次の図は、生態系における各生物の気体の出入りと、各生物の個体数を棒グラフで表したものを積み重ねたものです。



問1 上の図の、気体Xと気体Yの名前を漢字で答えなさい。

問2 上の図の、——矢印と-----矢印の気体の出入りがおこるはたらきを、それぞれ漢字で答えなさい。

問3 上の図の、-----矢印の気体の出入りのはたらきによってできるものを、気体X以外に答えなさい。

問4 次の動物が——矢印の気体の出入りのはたらきをするために利用している体の部分を答えなさい。

(1) ヒト

(2) メダカ

問5 一次消費者である草食動物と、二次消費者である肉食動物の目のつき方は異なっています。草食動物の目は横についていて、肉食動物の目は顔の正面についています。そのように目がつくことの利点をそれぞれ答えなさい。

問6 下線部について、ふつう生産者と一次消費者では一次消費者の方が個体数が少ないです。しかし、生態系には生産者の方が個体数が少なく、一次消費者の方が個体数が多い場合もあります。このような個体数が逆転する生態系として最も適当なものを、次のア～ウのうちから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 生産者が大形な生態系
- イ. 生産者の種類が豊富な生態系
- ウ. 一次消費者の種類が少ない生態系

問7 ある物質の生物体内における濃度が、まわりの環境よりも高濃度になっていく現象のことを生物濃縮<sup>のうしゆく</sup>といいます。近年ではマイクロプラスチックに含まれる有害物質が、生物濃縮により生物に悪影響を与えることが問題になっています。生物濃縮<sup>とくちよう</sup>が起こる物質の特徴として最も適当なものを次のア～エのうちから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 体内で分解されやすく、体外に排出されやすい物質
- イ. 体内で分解されやすく、体外に排出されにくい物質
- ウ. 体内で分解されにくく、体外に排出されやすい物質
- エ. 体内で分解されにくく、体外に排出されにくい物質

問8 次の表のように、ある有害物質が水中とそこで生活する生物から検出されました。ただし、表中の1 ppm とは100 万分の1 の重さの割合を表す単位です。つまり1 ppm は、1000000 mg に1 mg 含まれていることを表しています。表の濃度の値を参考にして、次の(1)と(2)に答えなさい。

|        | 水中          | プランクトン    | 小形の魚     | 大形の魚    |
|--------|-------------|-----------|----------|---------|
| ある有害物質 | 0.00005 ppm | 0.005 ppm | 0.01 ppm | 0.2 ppm |

(1) ある有害物質が最も濃縮されている段階を、次のア～ウのうちから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 水中 から プランクトン
- イ. プランクトン から 小形の魚
- ウ. 小形の魚 から 大形の魚

(2) 小形の魚1 kg に含まれる有害物質の重さは何 mg か答えなさい。

2 次の〔Ⅰ〕, 〔Ⅱ〕の問1～問8に答えなさい。

〔Ⅰ〕 A～Eの印をつけたビーカーに、次の5種類の水溶液が1種類ずつ入っています。どの水溶液が入っているか調べるために、次の実験1～実験4を行いました。次の問1～問4に答えなさい。

・過酸化水素水      ・水酸化ナトリウム水溶液      ・塩酸      ・石かい水      ・さとう水

【実験1】 においを調べたところ、ビーカーAとビーカーDはにおいがあつた。

【実験2】 赤色リトマス紙をつけたところ、ビーカーBとビーカーCではリトマス紙の色が変化した。

【実験3】 二酸化炭素をふきこむと、ビーカーCのみが白くにごつた。

【実験4】 二酸化マンガンを加えると、ビーカーDのみが気体が発生した。

問1 ビーカーCとビーカーEの水溶液は何ですか。次のア～オのうちから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア. 過酸化水素水      イ. 水酸化ナトリウム水溶液      ウ. 塩酸  
エ. 石かい水      オ. さとう水

問2 ビーカーAの水溶液にBTB溶液を加えると水溶液の色が変化しました。何色に変化したか答えなさい。

問3 【実験4】について、発生した気体は何ですか。次のア～エのうちから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 酸素      イ. 二酸化炭素      ウ. 水素      エ. アンモニア

問4 ビーカーCに塩化アンモニウム水溶液を加えたところ、気体が発生した。次の(1)と(2)に答えなさい。

(1) この気体についての文章として正しいものを次のア～オのうちから2つ選び、記号で答えなさい。

ア. 鼻をさすようなにおいがする。  
イ. 火のついたマッチを近づけると、ポツと音をたてて燃える。  
ウ. 水に溶けやすく、空気より軽い気体のため上方置換法で集める。  
エ. 水に溶けやすく、空気より重い気体のため下方置換法で集める。  
オ. 水に溶けにくい気体のため、水上置換法で集める。

(2) この気体をフェノールフタレイン溶液に通したところ、フェノールフタレイン溶液の色が変化しました。何色に変化したか答えなさい。

〔Ⅱ〕 あえん 0.65 g にある濃さの塩酸 X を加えたところ、気体が発生した。表は加えた塩酸の体積と発生した気体の体積の関係を表したものです。次の問 5 ～問 8 に答えなさい。

|                             |   |     |     |     |     |     |
|-----------------------------|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 塩酸 [ $\text{cm}^3$ ]        | 0 | 30  | 60  | 90  | 120 | 150 |
| 発生した気体の体積 [ $\text{cm}^3$ ] | 0 | 168 | 336 | 448 | 448 | 448 |

問 5 発生した気体の名前を漢字で答えなさい。

問 6 あえん 0.65 g がすべて溶けるのに必要な塩酸 X は少なくとも何  $\text{cm}^3$  ですか。整数で答えなさい。

問 7 あえん 2.6 g に塩酸 X よりも濃さが 2 倍の塩酸 Y を加えたとき、あえんをすべて反応させるのに必要な塩酸 Y は何  $\text{cm}^3$  ですか。整数で答えなさい。

問 8 ある量のあえんに塩酸 X を  $100 \text{ cm}^3$  加え、十分な時間おいたところ気体が発生しました。気体が発生し終わった後には、あえんが残っていました。これに塩酸 X よりもこさが半分の塩酸 Z を  $20 \text{ cm}^3$  加えたところ気体が発生し、気体の発生が終わると同時にあえんも無くなりました。最初あったある量のあえんは何 g ですか。小数第 3 位を四捨五入し、小数第 2 位まで答えなさい。

3 日本付近の天気とその変化について, [I], [II] の問1～問11に答えなさい。

[I] 次の問1～問4に答えなさい。

問1 天気は, その日の空をおおう雲の量を目で見てはかることで決まります。空の広さを10として, 雲量が8のときの天気は何か答えなさい。

問2 次の文中の ( あ ) ～ ( う ) に当てはまる語句を答えなさい。ただし, (い) と (う) には 東・西・南・北の4方位から1つ選んで答えなさい。

日本の天気は, ( あ ) という風の<sup>えいきょう</sup>影響を受けて, ( い ) から ( う ) へと動いていきます。

問3 日本の天気の様子は気象衛星により観測されています。この衛星は何と呼ばれていますか。ひらがな4文字で答えなさい。

問4 次の文章は, 昼と夜の風向きの変化について述べています。文章中の ( ① ) ～ ( ⑤ ) に入る適切な語句を, 下の語群から選び答えなさい。ただし, 同じ語句を複数回用いてよいものとします。

昼は, 太陽の光によって陸と海が照らされます。このとき, ( ① ) のほうがあたたまりやすく, 温度が高くなります。同時にその上の空気もあたためられ, あたためられた空気は上空へ移動していきます。これにより, (①) の気圧が ( ② ) くなり, ( ③ ) から ( ④ ) に向かって風が吹きます。これを ( ⑤ ) 風といいます。夜はこれと逆の現象が起こり風が吹きます。

語群

陸 海 高 低

[II] 次の文章は, 日本の季節ごとの天気の変化について述べています。次の問5～問11に答えなさい。

日本では, 夏と冬の季節ごとに ( ① ) という風が吹き, 風の向きが6ヵ月ごとに変化します。冬は ( A ) におおわれるため, ( X ) の風が吹きます。そのため, 日本海側ではしめった冷たい風が吹くことで雪が降りやすくなり, 太平洋側ではかんそうした晴れの日が続きます。夏に近づくにつれて, 北の冷たい ( B ) が強いところに, 南からあたたかい ( C ) が徐々に勢力を伸ばし始め日本付近でぶつかります。a これにより, 雲ができ長く雨が続きます。その後, (B) 気団を押し上げると, 夏になります。夏には, b 地面の熱であたためられた空気が上空で急に冷やされることにより, 上に大きく発達した雲ができ, 午後に激しい雨が降ったり, かみなりが鳴ったりします。夏の終わりには, 南の太平洋上で発生した熱帯低気圧が発達した ( ② ) が日本にやってくるようになります。

問5 ( ① ) と ( ② ) に入る適切な語句を答えなさい。

問6 ( A ) ～ ( C ) に入る気団の名前として最も適当なものを、次のア～エのうちから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア. 小笠原気団      イ. シベリア気団      ウ. オホーツク海気団      エ. 移動性高気圧

問7 ( X ) には方角が入ります。最も適当なものを、次のア～エのうちから1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 北西      イ. 北東      ウ. 南西      エ. 南東

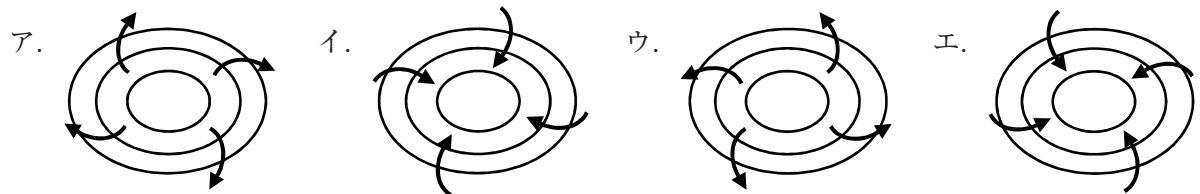
問8 下線部 a について、夏が近づく時期の長く続く雨の原因となる前線を表す天気図記号として正しいものを次のア～エのうちから1つ選び、記号で答えなさい。

ア.       イ.       ウ.       エ. 

問9 下線部 b について、この雲の名前を漢字で答えなさい。

問10 ( ② ) とは、風速が毎秒何メートル以上のものをいいますか。数値を答えなさい。

問11 ( ② ) の周りではどのように風が吹いていますか。最も適当なものを次のア～エのうちから1つ選び、記号で答えなさい。



4 次の〔Ⅰ〕, 〔Ⅱ〕の問1～問8に答えなさい。

〔Ⅰ〕図1のようにストローにエナメル線を巻いてコイルを作り, その中に鉄しんを入れ, 電流を図中の→の向きに流しました。次の問1～問4に答えなさい。

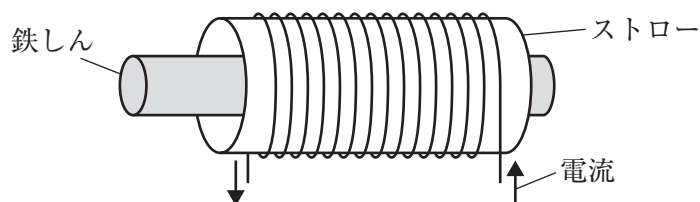


図1

問1 電流を流すと鉄しんは磁石のようになりました。この装置の名前を答えなさい。

問2 この磁石を強くする方法として, **誤っているもの**を次のア～エのうちから1つ選び, 記号で答えなさい。

- ア. エナメル線の巻き数を増やす。
- イ. 流れる電流を強くする。
- ウ. 鉄しんを太くする。
- エ. しんを鉄から銅にかえる。

問3 図2のように, このコイルの右側に方位磁針を置き電流を流すと, 方位磁針はどのようなになりますか。真上から見たときの様子として最も適当なものを次のア～エのうちから1つ選び, 記号で答えなさい。

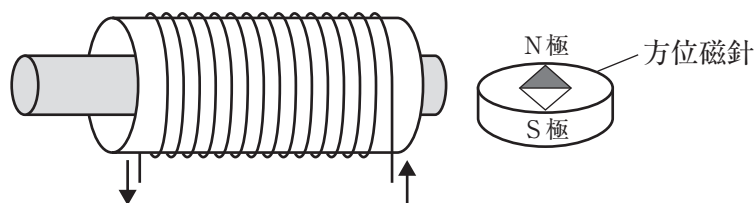
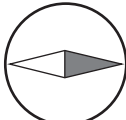
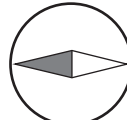


図2

- ア.       イ.       ウ.       エ. 

問4 問3の状態から, 方位磁針の位置は変えずに方位磁針のN極とS極の向きを反転させたいとき, どのような方法がありますか。15字以内で答えなさい。

〔Ⅱ〕図3は、鏡の前に立っている4人の人A～Dの位置をそれぞれ示しています。次の問5～問8に答えなさい。

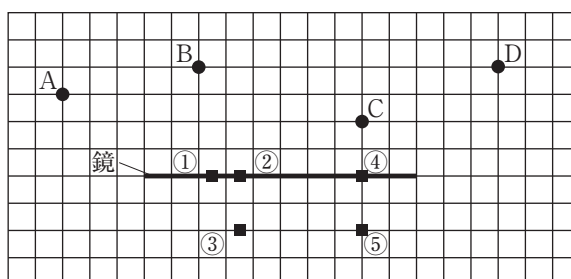


図3

問5 図3について、鏡に映る自分の姿が見える人は誰ですか。A～Dのうちからすべて選び、記号で答えなさい。

問6 図3について、Dが鏡を通して見ることのできる人はだれですか。A～Cのうちからすべて選び、記号で答えなさい。

問7 図3について、Aは鏡を通してCを見ることができます。AからはCがどこにあるように見えますか。Aから見たCの像の正しい位置を图中①～⑤のうちから1つ選び、記号で答えなさい。

次に、図4のように鏡を2枚用意して、直角になるように置き、Eが図中の位置に立ちました。このとき、Eは図5のように右手を挙げて、鏡と鏡のつなぎ目に対してまっすぐに向いています。

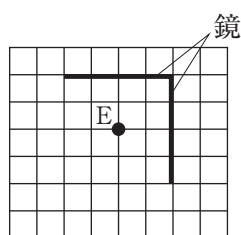


図4

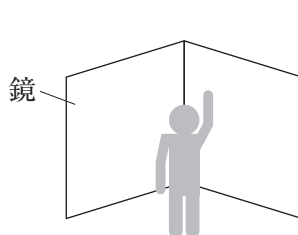


図5

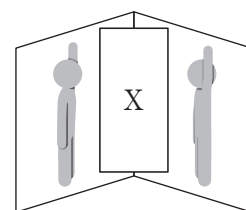
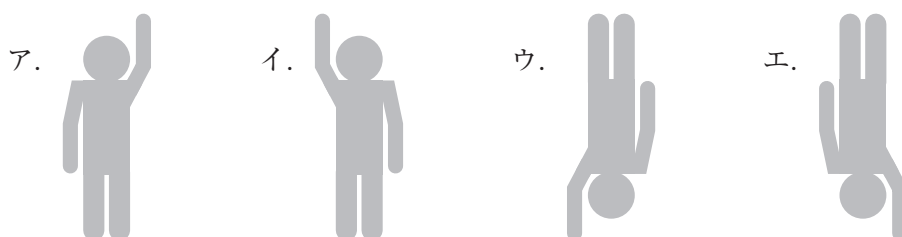


図6

問8 Eから鏡と鏡のつなぎ目を見ると、図6のように見えました。図6のXにはどのような像が見えますか。最も適当なものを次のア～エのうちから1つ選び、記号で答えなさい。



## 午後入試 適性問題 (国語)

一 次の文章を読んで、後の〔問一〕～〔問五〕に答えなさい。ただし、字数制限のある問題は、すべて句読点や括弧なども一字に数えます。なお設問の都合で、本文を一部改めたところがあります。

ましな方を選んでいくと、社会をつくる理由、シャチとムクドリ

損も得もしない

友だちといっしょにいと楽しいですよ。動物も同じでしょうか。

海のギャングと呼ばれるクジラの仲間、シャチは集団で狩りをすることが知られています。<sup>①</sup>かれらは10頭ほどの群れをつくって魚の群れを狩ります。獲得量は、1頭より2頭、2頭より3頭と、群れの大きさが大きくなるほどふえていきます。

ところが、3頭を超えると、1頭あたりの獲得量が減っていきます。とれるえさがふえても仲間に分け合うので、1頭のとりぶんが減ってしまうのです。それでも、1頭だけで狩るよりたくさんえさがとれるので、群れにはどんどん仲間が加わってきます。

10頭を超えると、今度は群れからはなれるシャチが出てきます。1頭あたりの獲得量がひどく小さくなってしまふからです。

この結果から、シャチはいつも「ましな方」を選んでいることがわかります。みんなが利益をもとめてかしく行動すると、だれも利益を得ない、という皮肉な事態につながるのです。

不思議に思うかもしれませんが、これが仲間をつくる理由のひとつです。決して「得」をしないのに、「損」をすることはさけない。「損」がかけられる限り、仲間をつくらうとします。

### 「農民」と「山賊」のバランス

また、もうひとつ理由があります。いいえさがあるか、どこにあるのか。これらのことを、ほかの仲間から学ぶことができるということです。

たとえば、ネズミは初めて出合ったえさは、すぐに食べません。毒があるかもしれないからです。近くにいるネズミの口のおいさをかいで、同じにおいがすれば食べ始めます。

仲間をつくれれば、たいせつな情報が手に入ります。

カナダの鳥学者、ルーク・ジラルドゥーさんは、ムクドリの実験をして、かくれたえさを手に入れる方法が2つあることをつきとめました。

直径10メートルの大きな鳥かごを用意し、10羽のムクドリを入れます。地面にはせまい穴が40個ほってあります。穴の中には、人間がえさを入れておくのですが、えさが入っているのはその一部分の10個ほどです。

この実験から、1羽のムクドリが「農民」と「山賊」の2つを使い分けていることがわかりました。<sup>②</sup>

農民とは、1羽でえさを探してとることです。山賊とは、農民の行動を見つめているほかの鳥たちのことです。近くにいた農民がえさを見つけると、とびついてそのムクドリのえさを横取りするので

ジラルドゥーさんによると、農民か山賊かは目で見分けることができます。目線が低いムクドリは、地面にかくしているえさを探す農民、目線が高いムクドリは、農民がえさを見つけた瞬間を見のがさない山賊なのだそうです。

山賊はいつでも得をしていて、農民よりたくさんえさをとっているでしょうか。必ずしもそうではありません Ⅱ 【グラフ】参照。

グラフは山賊をするムクドリの割合を横軸にとっています。縦軸は、農民と山賊の、それぞれの利益を表しています。

100羽中1羽だけが山賊なら、山賊はもうかります。周りのすべての鳥からえさを横取りできるからです。あまりにもうかるので、農民をやめて山賊になろうとする鳥が出てきます。山賊は2羽になりますね。それでも農民は98羽いますから、山賊はまだまだいい商売ができます。

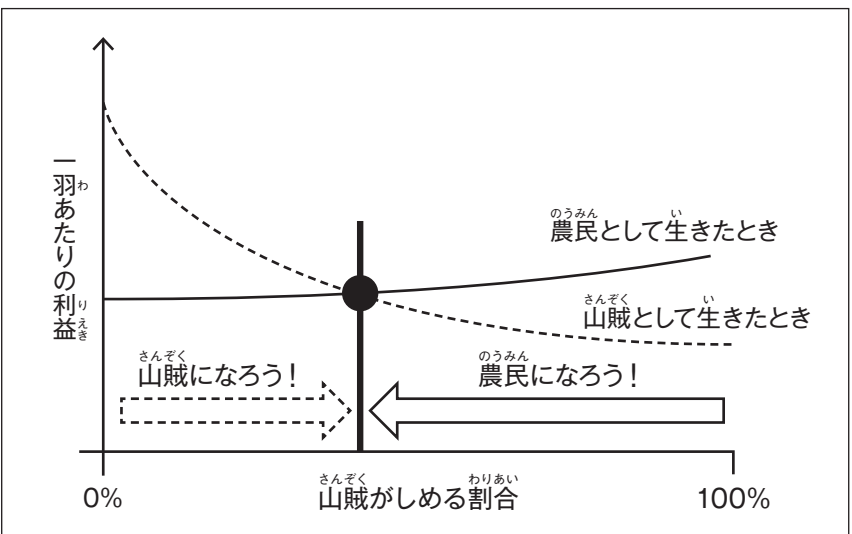
〔Ⅰ〕

シャチの場合と同じようなことが起こっているのです。山賊と農民、どちらがより得をする、ということはありません。実際、ムクドリの場合は、何割かの鳥が山賊としてふるまった状態で、つりあいがとれています。

このように、生物として正しい行動は1つではありません。仲間をつくるとき、進化の働きは、一人ひとり（一頭一頭、一羽一羽）にちがった行動を生み出す力を持っているのです。

（松島俊也<sup>としや</sup>「動物に心はあるだろうか？」より）

【グラフ】



（Giraldeau & Caraco 2000 から作成）

〔問二〕——線部①「かれらは10頭ほどの群れをつくって魚の群れを狩ります」とありますが、なぜ「10頭ほど」なのですか。その理由として適当なものを、次のア～オの中から二つ選えらびなさい。

ア シャチは「ましな方」を選んだ結果、仲間を作ろうとするから。  
 イ 群れの大きさが大きくなるほど、全体のえさの獲得量が増えるから。  
 ウ 10頭を超えると、1頭あたりのえさの獲得量が減るから。  
 エ 集団で狩りをした方が、海のギャングとして活躍かつやくできるから。  
 オ 大きな集団に所属していた方が、楽してえさを獲得できるから。

〔問三〕——線部②「『農民』と『山賊』の2つ」とありますが、「農民」と「山賊」はどちらがいますか。解答欄らんの形式に合わせて、それぞれの特徴とくちょうをふまえて、四十字以内で答えなさい。

〔問三〕 空欄「Ⅰ」には次のア～エの各文が入ります。正しい順番になるように、並べかえて、記号で答えなさい。

ア みつかるえさの量は減るのに、横取りする山賊はふえていく一方です。  
 イ そこで、「足をあらって」農民にもどるムクドリが出てきます。  
 ウ このように、山賊がどんどんふえていくとどうなるでしょう。  
 エ そのうち、山賊として生きるより、農民として生きる方がよくなってきます。

〔問四〕 【グラフ】中の●は、どういう状態を表していますか。最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選えらびなさい。

ア 「農民」のムクドリが、「山賊」のムクドリと敵対している状態。  
 イ 一定数のムクドリが「山賊」になったところで、バランスが取れている状態。  
 ウ 「農民」のムクドリの方が、「山賊」のムクドリよりも得をしている状態。  
 エ 「山賊」になろうとするムクドリが、「農民」のムクドリを攻せめている状態。

## 〔問五〕

本文の内容と合うものとして最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

ア シャチは群れを作って助け合いの狩りをするが、ムクドリは群れの仲間のえさを奪<sup>うば</sup>うという行動を取るように、生物として正しい行動は1つではない。

イ シャチは仲間思いな生き物なので海のギャングになったが、ムクドリは敵対心が強くけんかをするので、生物としてはシャチの方が生存に適している。

ウ シャチはえさに毒があるかを気にしないが、ネズミやムクドリはすでに仲間が食べているえさだけを狙<sup>ねら</sup>うので、より警戒<sup>けいかい</sup>心の強い生物とされている。

エ シャチはいつも10頭ほどの群れで行動するが、ムクドリは40羽ほどの群れを作ろうとするので、実はムクドリの方が仲間意識が強いといえる。

【一】 学校全体の交流を活発化するために、児童会では、校内ドッジボール大会を開くことにしました。次に示すものは、ドッジボール大会を児童全体にどう伝えるかについての話し合いの一部です。これを読んで、後の〔問一〕～〔問三〕に答えなさい。

司会 …ドッジボール大会を開くことは決まりましたが、どのようにこの大会について知らせればよいと思いますか。理由もふくめて意見を出してください。

ナツさん…私は、まず校内放送をして、みんなに知ってもらうことが大切だと思います。学校全体の交流という大会の目的も伝えれば、参加してくれる人は多くなると思います。みんなに平等に伝わる方法がいいと思います。

ハルさん…<sup>(注1)</sup>ぼくは、SNSを使えばいいと思います。<sup>(注1)</sup>校内放送だと、休憩中の騒<sup>さわ</sup>がしい教室内には伝わりきらなかったり、聞き逃<sup>のが</sup>したりすることもありそうです。だからSNSで発信するほうが、誤解なく伝わるかなと思います。

司会 …ナツさんの意見は、みんなへ平等に伝えられる方法が良いということですね。それに対してハルさんはみんなへ<sup>(注2)</sup>に伝えられる方法が良いという意見なのです。ほかに意見はありませんか。

アキさん…私は、SNSには反対です。私たち児童会のSNSアカウントを知っている人と知らない人で、情報の伝わり方に差ができてしまうからです。

(注1) SNS……………ソーシャル・ネットワークキング・サービス (Social Networking Service) の略。フェイスブックやX (旧ツイッター)、ライン、インスタグラムなどのことであり、利用者が急増している。

(注2) アカウント……………ネットワークやSNSなどを使うときに必要な番号。

〔問一〕 司会の発言中にある空欄に入る適当な言葉を、漢字二字で考えて答えなさい。

〔問二〕 この後、さらに別の人から「みんなが集まるので、全校集会の時間に宣伝しよう」という意見が出ました。それに対して司会が取る行動として最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 意見が多く、決められなくなるので、意見を増やさないように言う。
- イ 今の議論の内容とは別のことなので、とりあえず無視しておく。
- ウ これまで出た意見を整理して、合意できそうな点を探してみる。
- エ 次の全校集会に間に合うよう、宣伝内容をまとめるよう指示する。

〔問三〕 この話し合いの結果として、最も良いと考えられる宣伝方法は何になるでしょうか。最も適当なものを、次のア～エの中から一つ選びなさい。

- ア 校内放送および全校集会で呼びかけたうえで、詳しい内容はSNSを見てもらうようにする。
- イ 全校集会でポスター作りのメンバーを集め、宣伝ポスターを作成して、児童会室前に掲示しておく。
- ウ 毎日正門の前に立ってSNSのすばらしさを伝え、児童会SNSに参加してくれるように呼びかける。
- エ 放課後の静かな時間をねらって、交流の大切さやドッジボールの楽しさについて校内放送で詳しく宣伝する。

# 午後入試 適性問題 (算数)

- 1 ある鉄道には下の図のように、A 駅、B 駅、C 駅、D 駅、E 駅、F 駅の 6 つの駅があり、この順に並んでいます。ただし、図の各駅間の距離は正しくかかれていません。

また、(表 1) は各駅間の距離を表しており、(表 2) は距離に対する運賃を表しています。例えば C 駅と F 駅の乗車区間では、距離は 13.9 km で運賃は 330 円となります。



(表 1)

|   |   |    |      |     |     |
|---|---|----|------|-----|-----|
|   |   |    |      |     | A   |
|   |   |    |      | B   |     |
|   |   |    | C    |     |     |
|   |   | D  |      |     | 6.6 |
|   | E |    |      | 6.5 | 10  |
| F |   | 13 | 13.9 |     |     |

単位：km

(表 2)

| 距離                | 運賃  |
|-------------------|-----|
| 0 km 以上 3 km 未満   | 180 |
| 3 km 以上 6 km 未満   | 230 |
| 6 km 以上 12 km 未満  | 280 |
| 12 km 以上 18 km 未満 | 330 |
| 18 km 以上          | 380 |

単位：円

次の文章を読んで問いに答えなさい。

たいきさんがこの鉄道の駅間の距離について調べました。

C 駅と E 駅の距離は  km です。また、距離が 2 番目に短いのは  の距離であることがわかりました。

次に、たいきさんがこの鉄道の運賃について調べました。

E 駅と F 駅の乗車区間の運賃は  円でした。

また、運賃が 230 円にあてはまる乗車区間は  の場合であることがわかりました。

(1)  に最も適切な数を入れなさい。

(2)  にあてはまるものを，下の乗車区間の中から 1 つ選び番号で答えなさい。

(3)  に最も適切な数を入れなさい。

(4)  にあてはまるものを，下の乗車区間の中からすべて選び番号で答えなさい。

乗車区間

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| ① A 駅と B 駅 | ② A 駅と C 駅 | ③ A 駅と D 駅 |
| ④ A 駅と E 駅 | ⑤ A 駅と F 駅 | ⑥ B 駅と C 駅 |
| ⑦ B 駅と D 駅 | ⑧ B 駅と E 駅 | ⑨ B 駅と F 駅 |
| ⑩ C 駅と D 駅 | ⑪ C 駅と E 駅 | ⑫ C 駅と F 駅 |
| ⑬ D 駅と E 駅 | ⑭ D 駅と F 駅 | ⑮ E 駅と F 駅 |

2 次の問いに答えなさい。

- (1) 整数の約数の個数について考えます。たとえば、10 の約数は、1, 2, 5, 10 の 4 個です。1 から 20 までの整数の中で、約数の個数が 2 個である整数をすべて答えなさい。

- (2) 次の  ,  ,  に最も適切な数を入れなさい。

(1) で考えた整数の中から 2 つの数を選んで、それを  と  とします。

和  +  と、差  -  をそれぞれ計算したら、一の位の数が両方とも  となりました。このような  ,  ,  を 1 組だけ答えなさい。もし和や差が 1 けたの整数になれば、その数を一の位の数とします。

【ただし、設問 (2) はあなたの答えが得点になります。  
その得点は  点です。】

- (3) 次の  ,  に最も適切な数を入れなさい。

(1) で考えた整数の中から 2 つの数を選んで、それを  と  とします。

和  +  を計算したら、和も (1) で考えた整数の中にありました。このような  と  を 1 組だけ答えなさい。 と  の順序は問いません。

## 午後入試 適性問題（理科）

1 次の文章を読んで、問1～問3に答えなさい。

わこうくんは、待ちに待った夏休みにお父さんとドライブにでかけました。その途中で立ち寄った展望台で撮影したのが右の写真です。



わこうくん：やっと川の①【上流・下流】まで来たね。

お父さん：これまでに見てきた川と雰囲気（ふんちが）が違うの（さつえい）がわかるかな。

わこうくん：川はさが②【せまく・広く】川の両側が③【広い河原・けわしい谷】になっているね。

お父さん：良く観察できているね。こういった場所では、ふつう、川の流れは④【速い・遅い（おそ）】なんだよ。そして川の水の流れの⑤【しん食・たい積】するはたらきが大きいんだ。

わこうくん：そうなんだね。

この会話のあと、わこうくんとお父さんは、見る方向を少し変えました。その時の光景が右の写真です。

わこうくん：川のほとんど同じ場所なのに、ここでは、□や○で示した部分のように⑥【しん食・たい積】するときもあるんだね。

お父さん：良く気づいたね。そのとおりだよ。その理由を考えてみよう。

わこうくん：○の場所は、川が曲がっているところだね。そういったところでは、川の流れは、カーブの内側の方が⑦【速い・遅い】からだよな。

お父さん：良くわかったね。そのとおりだよ。



問1 ①～⑦にあてはまるもっとも適した言葉を、それぞれの【 】内から選び答えなさい。

次の日、わこうくんとお父さんは、飛行機で別の場所に移動しました。このときに展望台から撮影したのが右の写真です。

わこうくん：この山や川の様子、ぼくたちがこの前見た景色と全く違うね。

お父さん：そうだね。この景色は、ゆっくりと動く氷の塊<sup>かたまり</sup>がつくる氷河地形というんだ。

わこうくん：氷河って何なの。

お父さん：氷の塊が川のようにゆっくりと進んでいくものを氷河というんだ。日本にも、7ヶ所あるんだよ。

わこうくん：夏なのに涼しいね。この氷河の氷を使うと美味しい冷たい水ができそうだね。

お父さん：そうだね。では、次の問いを考えてみよう。



外と熱の出入りが無い水筒<sup>とう</sup>に  $0^{\circ}\text{C}$  の水  $500\text{ g}$  と  $0^{\circ}\text{C}$  の氷  $250\text{ g}$  が入っています。④ この水筒の水を  $200\text{ g}$  飲み、 $20^{\circ}\text{C}$  の水を同じ量加えて、この水が  $0^{\circ}\text{C}$  になるのを待ちました。

$0^{\circ}\text{C}$  の氷に熱を加えると水になり、水に熱を加えると水の温度が上昇<sup>しょう</sup>します。 $0^{\circ}\text{C}$  の氷  $1\text{ g}$  を  $0^{\circ}\text{C}$  の水  $1\text{ g}$  にするときに加える熱の大きさと、ある温度の水  $80\text{ g}$  をある温度より  $1^{\circ}\text{C}$  高い温度の水  $80\text{ g}$  にするときに加える熱の大きさは同じとします。



問2 ⑧～⑩について、計算して求めた数値を答えなさい。

⑧ ある温度の水  $200\text{ g}$  をある温度より  $1^{\circ}\text{C}$  高い温度の水  $200\text{ g}$  にするときに加える熱の大きさは、 $0^{\circ}\text{C}$  の水を何  $\text{g}$  溶かす熱の大きさと同じですか。

⑨ 下線部④の操作を、はじめの1回も含めて何回繰り返すと氷が全て溶けますか。

⑩ 氷が全て溶けたあと、水筒の水を全て飲み干しました。下線部④の操作で飲んだ水  $200\text{ g}$  を含めて、飲んだ水は合計何  $\text{g}$  ですか。

このあと、わこうくんとお父さんは、電車で別の場所に移動しました。このときに展望台から撮影したのが右の写真です。

わこうくん：この山すごくとんがっているけれど、  
どうしてなの。

お父さん：この山の形は氷食尖峰<sup>ひょうしょくせんぽう</sup>といって、氷河によって岩がけずれてできたものなんだ。



わこうくんとお父さんは、昨年の秋に北海道にいったときのことを思い出しました。このとき、北海道のとある山の展望台で撮影したのが右の写真です。

わこうくん：そういえば、昨年の秋に見に行った北海道にある噴煙<sup>ふんえん</sup>を上げているこの山、様子や形がさっきの山と違うね。

お父さん：山にはいろいろなでき方があるんだよ。この山は氷河によってけずられてできたのではなく、【 ⑪ 】活動でできたから、このような形をしているんだよ。



問3 ⑪にあてはまるもっとも適した言葉を答えなさい。

2 次の〔Ⅰ〕,〔Ⅱ〕の問1～問4に答えなさい。

〔Ⅰ〕光について、次の問1～問2に答えなさい。

問1 太陽光線は三角プリズムを通過した後、赤・<sup>だいだい</sup>橙・黄・緑・青・<sup>むらさき</sup>紫などのさまざまな色に分かれます。太陽光線にはこれらの色の光が<sup>ふく</sup>含まれていますが、色紙に太陽光線が当たっているとき、その色紙はある色に見えます。また、黒く見える物体があるとき、その物体からは光がほとんど目に届いていません。このことについて、次の(1)～(2)に答えなさい。

(1) 赤色の色紙に太陽光線が当たっているとき、色紙が赤く見えるのはなぜだと考えられますか。

「吸収」と「反射」という言葉をそれぞれ1回以上用いて答えなさい。

(2) 黒色の色紙に太陽光線が当たっているとき、色紙が黒く見えるのはなぜだと考えられますか。

「吸収」と「反射」という言葉をそれぞれ1回以上用いて答えなさい。

問2 下の図1のAの位置に目があり、水中の光源を水面よりも上で見えています。このとき、図2のように光源は本当の位置よりも上のBの位置にあるように見えました。

このとき、光源からAに進んできた光線を実線で解答欄の図にかきなさい。なお、答えの実線だけではなく、補助線や説明のための文・語句などを解答欄に書いてもよいですが、答えがどれかということがわかるようにしなさい。

なお、光は水中でも空気中でもまっすぐ進みますが、水面のところで進む向きが変わります。この問題でAに進んでくる光線は、光源から水面にまっすぐに進み、水面で進む向きが変わってから、<sup>りょ</sup>空気中をまっすぐAまで進んできます。そのことを考慮して作図しなさい。

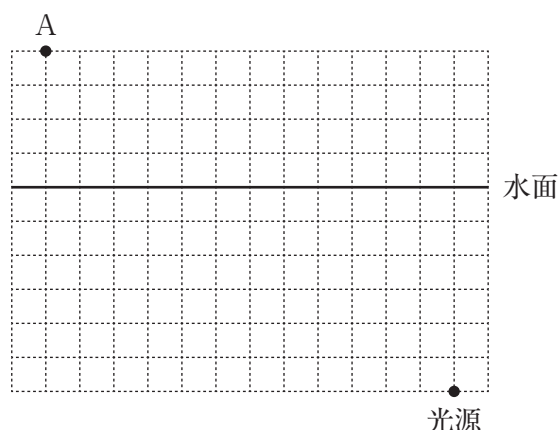


図1

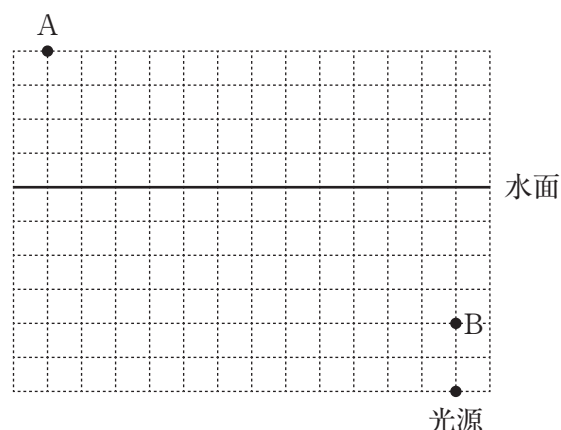


図2

〔Ⅱ〕液体の水は、 $0^{\circ}\text{C}$ から $4^{\circ}\text{C}$ までは温度が上がると体積が小さくなり、 $4^{\circ}\text{C}$ 以上の温度では温度が上がると体積が大きくなります。空気は常に温度が上がると体積が大きくなります。また、問題中のフラスコは常に温度が上がると容積が大きくなります。次の問3～問4に答えなさい。

問3 右の図3のように、ガラス管のついたゴムせんをフラスコにつけました。フラスコには空気が入っている状態です。

実験室の温度が上がるとき、ガラス管の中を空気はフラスコの中から外の向きに移動します。その理由を説明したのが次の文章です。

①～③にあてはまるもっとも適した言葉を、それぞれ【 】内から選び答えなさい。なお、フラスコと空気の温度はどの時点でも等しいものとします。

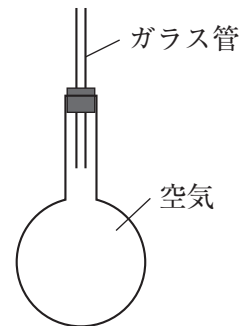


図3

フラスコの容積は①【増加・減少】し、空気の体積は②【増加・減少】した。その結果、③【フラスコの容積・空気の体積】の変化の量の方が大きくなったから。

問4 右の図4のように、ガラス管のついたゴムせんをフラスコにつけました。フラスコには水が入っている状態です。実験室の温度は $4^{\circ}\text{C}$ であり、フラスコと水全体の温度も $4^{\circ}\text{C}$ であるとして。これについて、次の(1)～(3)に答えなさい。なお、理由を説明するとき、必ずフラスコの容積と水の体積の変化に基づいて説明しなさい。

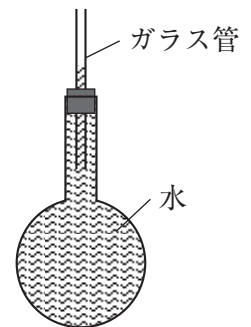


図4

(1) 実験室の温度もフラスコと水全体の温度も $4^{\circ}\text{C}$ のときから、温度がゆっくり変化して $1^{\circ}\text{C}$ に下がりました。このとき、ガラス管の中の水面が $4^{\circ}\text{C}$ のときよりも上がっています。その理由を説明したのが次の文章です。①～②にあてはまるもっとも適した言葉を、それぞれ【 】内から選び答えなさい。なお、フラスコと水の温度はどの時点でも等しいものとします。

フラスコの容積は①【増加・減少】し、水の体積は②【増加・減少】したから。

(2) 実験室の温度もフラスコと水全体の温度も $4^{\circ}\text{C}$ のときから、温度がゆっくり変化して $20^{\circ}\text{C}$ に上がりました。このときも、ガラス管の中の水面が $4^{\circ}\text{C}$ のときよりも上がっています。その理由を説明しなさい。なお、フラスコと水の温度はどの時点でも等しいものとします。

(3) 実験室の温度もフラスコと水全体の温度も  $4^{\circ}\text{C}$  のとき、フラスコを  $20^{\circ}\text{C}$  の水が入った水槽<sup>そう</sup>に入れました。この場合は、最初フラスコと水の温度に違いが生じ、最終的にフラスコと水全体の温度が  $20^{\circ}\text{C}$  になります。ガラス管の中の水面はどのように変化すると考えられますか。次のア～カから正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

ア. 下がり続ける。最終的に、もとの高さよりも下がっている。

イ. 上がり続ける。最終的に、もとの高さよりも上がっている。

ウ. 最初は下がり、その後は上がる。最終的に、もとの高さよりも下がっている。

エ. 最初は下がり、その後は上がる。最終的に、もとの高さよりも上がっている。

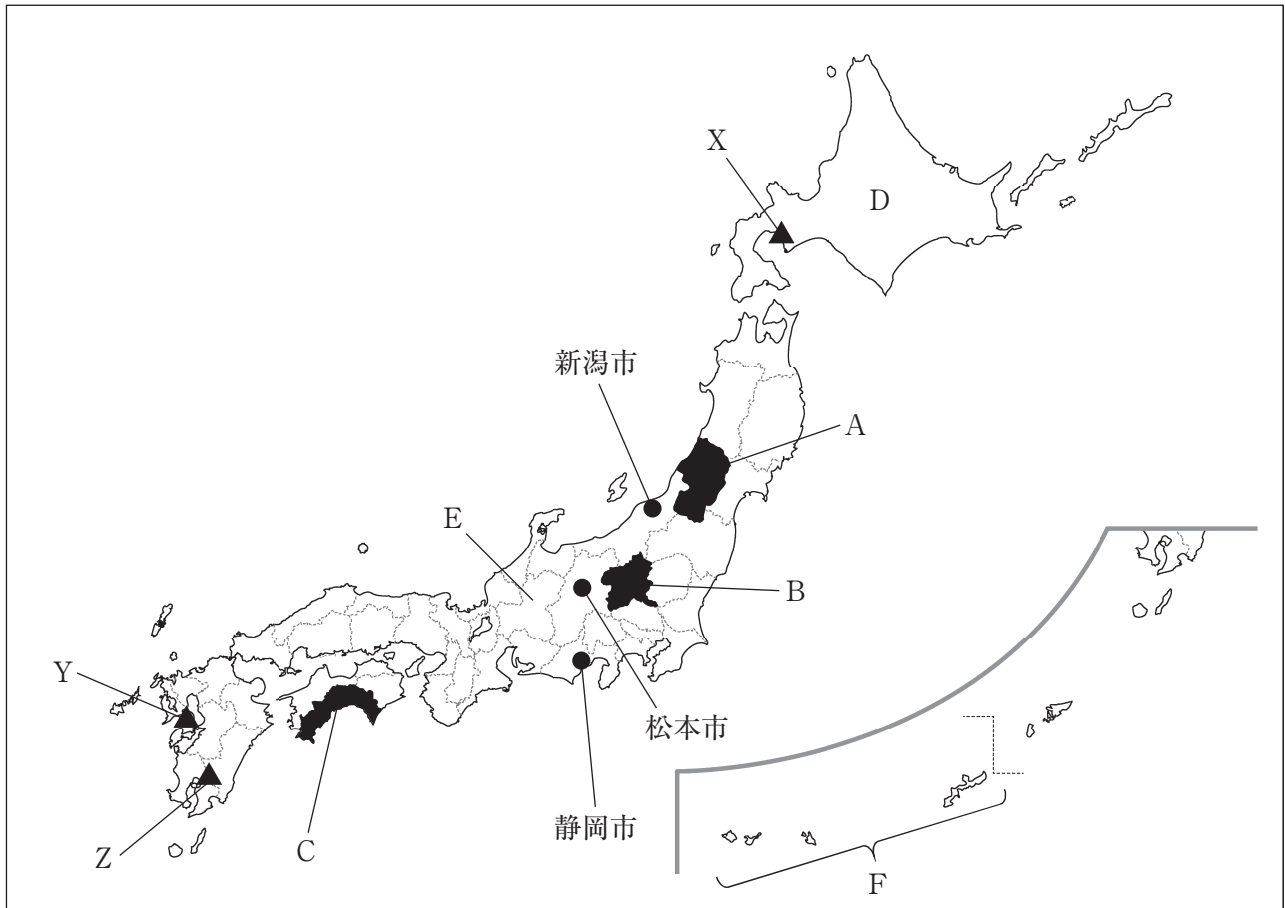
オ. 最初は上がり、その後は下がる。最終的に、もとの高さよりも下がっている。

カ. 最初は上がり、その後は下がる。最終的に、もとの高さよりも上がっている。

## 午後入試 適性問題 (社会)

- 1 次の日本の地図をみて、あとの問1～問9に答えなさい。

地図



問1 次のカードⅠ～Ⅲは、地図中のA～Cのいずれかの都道府県に関係のある語句をまとめたものである。カードⅠ～Ⅲと地図中のA～Cとの正しい組み合わせを、下のア～カのうちから一つ選びなさい。

|      |                             |     |                                |
|------|-----------------------------|-----|--------------------------------|
| カードⅠ | 野菜の促成栽培 <sup>そくせいさいばい</sup> | かつお | しまんとがわ <sup>しまん とがわ</sup> 四万十川 |
|------|-----------------------------|-----|--------------------------------|

|      |      |                                  |                           |
|------|------|----------------------------------|---------------------------|
| カードⅡ | キャベツ | こうげんやさい <sup>こうげん やさい</sup> 高原野菜 | まえばし <sup>まえば し</sup> 前橋市 |
|------|------|----------------------------------|---------------------------|

|      |                                    |       |                             |
|------|------------------------------------|-------|-----------------------------|
| カードⅢ | しょうないへいや <sup>しょうない へいや</sup> 庄内平野 | さくらんぼ | もがみがわ <sup>もがみ がわ</sup> 最上川 |
|------|------------------------------------|-------|-----------------------------|

|   | ア | イ | ウ | エ | オ | カ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | A | A | B | B | C | C |
| Ⅱ | B | C | A | C | A | B |
| Ⅲ | C | B | C | A | B | A |

問2 次の表1は、近年、日本で発生した主な自然災害（地震や噴火）の年表である。表中の下線部①～③と地図中のX～Zの場所との正しい組み合わせを、下のア～カのうちから一つ選びなさい。

表1

| 年号   | 地震や噴火                                                                 |
|------|-----------------------------------------------------------------------|
| 1990 | <u>①雲仙普賢岳噴火</u><br><small>うんぜん ふ げんだけ</small>                         |
| 1993 | 北海道南西沖地震<br><small>なんせいおき</small>                                     |
| 1995 | 阪神・淡路大震災<br><small>はんしん あわじだいしんさい</small>                             |
| 2000 | <u>②有珠山噴火</u><br><small>うすざん</small><br>三宅島噴火<br><small>みやけじま</small> |
| 2004 | 新潟県中越地震<br><small>ちゅうえつ</small>                                       |
| 2008 | 岩手宮城内陸地震                                                              |
| 2011 | <u>③霧島山（新燃岳）噴火</u><br><small>きりしまやま しんもえだけ</small><br>東日本大震災          |
| 2014 | 御嶽山噴火<br><small>おんたけさん</small>                                        |
| 2016 | 熊本地震                                                                  |

|   | ア | イ | ウ | エ | オ | カ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | X | X | Y | Y | Z | Z |
| ② | Y | Z | X | Z | X | Y |
| ③ | Z | Y | Z | X | Y | X |

問3 次の文章は、防災対策における「3つの助」について書かれたものである。文章中の空欄（Ⅰ）～（Ⅲ）にあてはまる語句をそれぞれ漢字2字で答えなさい。

自然災害による被害を減らすためには、国や都道府県などで取り組む（Ⅰ）だけでなく、まず、自分の命は自分で守る（Ⅱ）や、近所の人たちが助け合う（Ⅲ）も大切です。また、国や都道府県、市町村では、普段から防潮堤や砂防ダムなどを建設するなど、減災に取り組んでいます。

問4 次の資料1は、地図中のD～Fの都道府県のいずれかの場所で撮影された建物の写真である。  
資料中のⅠ～Ⅲと地図中のD～Fとの正しい組み合わせを、下のア～カのうちから一つ選びなさい。

資料1

Ⅰ



台風等に備えたつくりとなっている

Ⅱ



寒さに対応するために玄関が二重となっている

Ⅲ

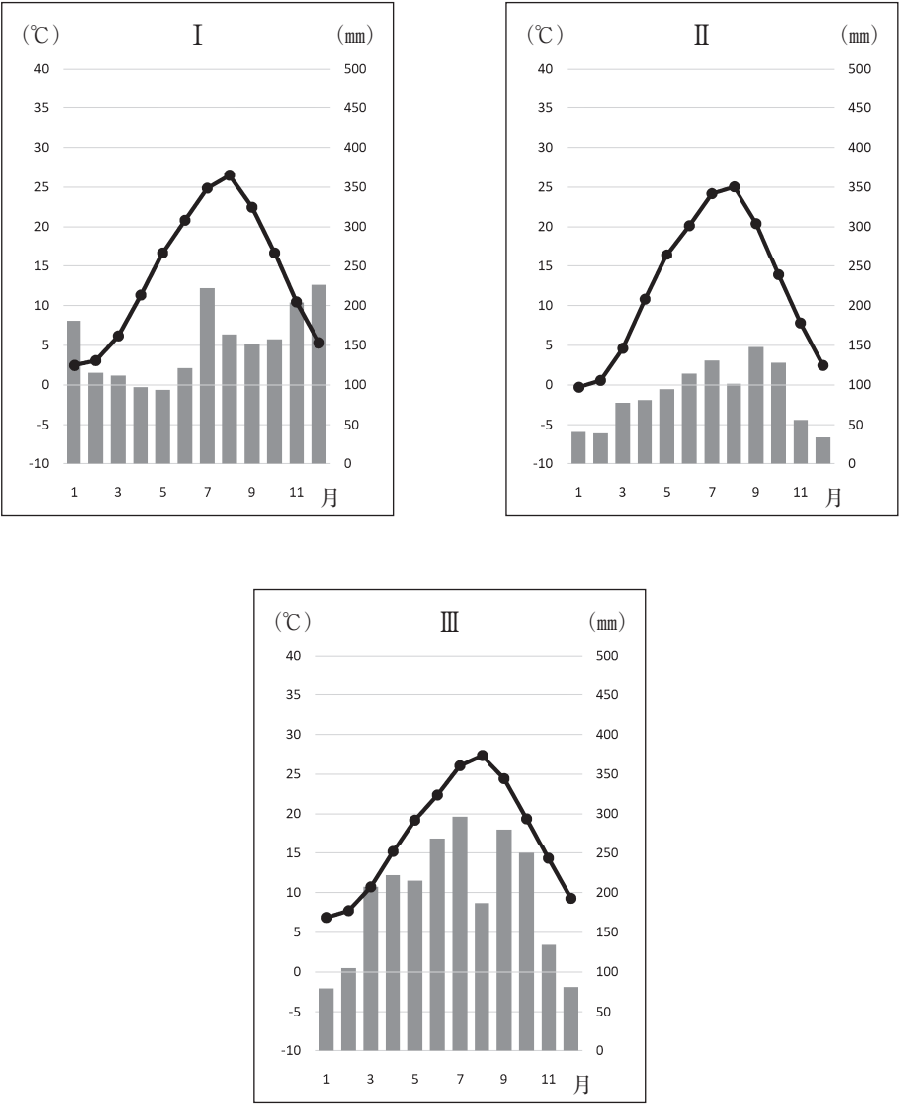


白川郷という名称で世界遺産に登録されている

|   | ア | イ | ウ | エ | オ | カ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⅰ | D | D | E | E | F | F |
| Ⅱ | E | F | D | F | D | E |
| Ⅲ | F | E | F | D | E | D |

問5 次の資料2は、地図中の新潟市、松本市、静岡市のいずれかの月別平均気温と月別平均降水量を表したものである。資料中のⅠ～Ⅲと各都市との正しい組み合わせを、下のア～カのうちから一つ選びなさい。

資料2



※気象庁ホームページより作成。

|   | ア   | イ   | ウ   | エ   | オ   | カ   |
|---|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| Ⅰ | 新潟市 | 新潟市 | 松本市 | 松本市 | 静岡市 | 静岡市 |
| Ⅱ | 松本市 | 静岡市 | 新潟市 | 静岡市 | 新潟市 | 松本市 |
| Ⅲ | 静岡市 | 松本市 | 静岡市 | 新潟市 | 松本市 | 新潟市 |

問6 日本の地域ごとの気候に大きな影響<sup>えいきょう</sup>を与えているものの一つに「季節風」という風がある。  
この「季節風」を20字以内で説明しなさい。

問7 次の表2は、2021年における日本の都道府県別農業産出額<sup>さんしゅつがく</sup>ランキングを表している。表中の  
Ⅰ～Ⅲは、日本における、野菜、果実、畜産<sup>ちくさん</sup>のいずれかである。表中のⅠ～Ⅲと3つの項目<sup>こうもく</sup>との  
正しい組み合わせを、下のア～カのうちから一つ選びなさい。

表2

|    | Ⅰ    | Ⅱ   | Ⅲ    |
|----|------|-----|------|
| 1位 | 北海道  | 北海道 | 青森県  |
| 2位 | 鹿児島県 | 茨城県 | 長野県  |
| 3位 | 宮崎県  | 千葉県 | 和歌山県 |
| 4位 | 岩手県  | 熊本県 | 山梨県  |
| 5位 | 熊本県  | 愛知県 | 山形県  |

※矢野恒太記念会編集 データでみる県勢2024より作成。

|   | ア  | イ  | ウ  | エ  | オ  | カ  |
|---|----|----|----|----|----|----|
| Ⅰ | 野菜 | 野菜 | 果実 | 果実 | 畜産 | 畜産 |
| Ⅱ | 果実 | 畜産 | 野菜 | 畜産 | 野菜 | 果実 |
| Ⅲ | 畜産 | 果実 | 畜産 | 野菜 | 果実 | 野菜 |

問 8 次の表 3 は、1960年から2020年における20年ごとの日本における製造品出荷額等割合（％）の  
せいぞうひんしゅつがく  
 移り変わりを表している。表中のア～エは、金属、機械、せんい、食料品のいずれかである。機  
 械にあてはまるものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

表 3

|   | 1960年 | 1980年 | 2000年 | 2020年 |
|---|-------|-------|-------|-------|
| ア | 25.8  | 31.8  | 45.8  | 45.0  |
| イ | 12.3  | 5.2   | 2.3   | 1.2   |
| ウ | 13.1  | 10.5  | 11.6  | 12.9  |
| エ | 18.8  | 17.1  | 11.1  | 13.1  |

※矢野恒太記念会編集 日本国勢図会2024/2025より作成。

問 9 次の文章が説明している制度をカタカナで答えなさい。

これは、食品がいつ、どこで作られ、どのような流れで家庭まで届くのかという生産・流  
 通の履歴を明らかにする制度です。食品の栽培や生産、加工や処理、輸送と販売などの各場  
 面で正確な記録を残すことで、安全性について問題が起こったときに原因を探り、食品の回  
 収などを容易にできるようにするものです。この制度によって、品質・表示に対する消費者  
 の信頼性を得ることができます。

- 2 きりこさんのクラスでは、教科書に登場する歴史上の4つの一族について調べた。次のカード I～IVは、その学習内容をまとめたものである。これをみて、あとの問1～問11に答えなさい。

### I ふじわら 藤原氏

平安時代になると、ちやうてい 朝廷の一部の有力な貴族が政治を動かすようになりました。特に、( A )の子孫である藤原道長は、①朝廷内において大きな力をもち、天皇にかわって政治を進めました。

### II 平氏

②平清盛は、朝廷や貴族の政治の実権をめぐる争いの末、権力を握るようになり、経済面では、X中国との貿易を進めました。平氏は、政治を思いのままにおこなうようになりました。しかし、源氏との戦いで、どんどん西国に追いつめられ、③壇ノ浦だんのうら ほろで滅ぼされました。

### III 北条氏

源頼朝が開いた④鎌倉幕府の実権かまくらばくふは、しっけん 執権（将軍に代わって政治をおこなう）についていた北条氏に引きつがれました。この幕府は、⑤将軍と御家人ごけにんの結びつきによって成り立っていましたが、⑥元軍との戦いの後、幕府はおとろえていくことになりました。

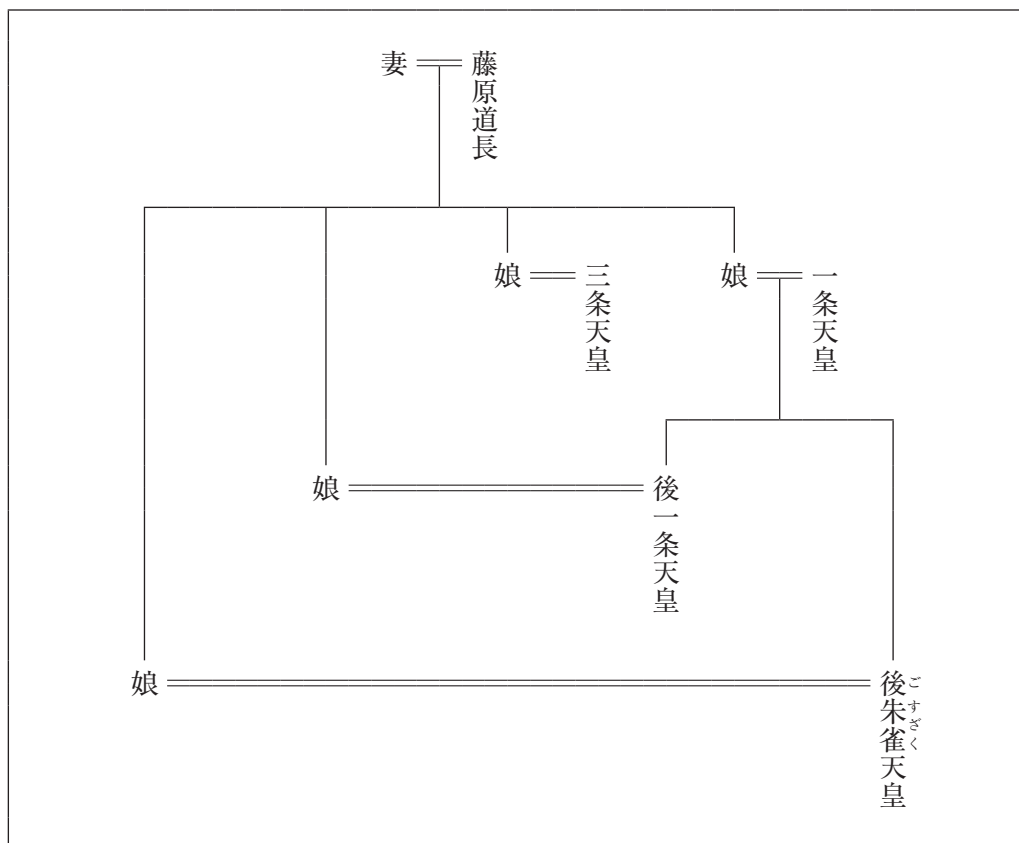
### IV 足利氏

足利氏は室町幕府を開き、足利義満が政治をおこなっていたころに幕府の力がもっとも強まりました。義満は、Y中国との貿易をおこなうとともに、⑦文化や芸術を保護しました。その後、幕府の力はしだいに弱まり、⑧足利義政のときには京都であとつぎをめぐって⑨戦乱がおこりました。

問1 空欄（ A ）について，645年に<sup>なかのおおえのおうじ</sup>中大兄皇子とともに<sup>そ が</sup>蘇我氏をたおした人物名を漢字で答えなさい。

問2 下線部①について，次の図1は藤原氏の家系図の一部である。藤原道長が朝廷内で大きな力をもった手段を，次の図を参考に15字以内で答えなさい。

図1



問3 下線部②について，平清盛ともっとも関係のある語句を，次のア～エのうちから一つ選びなさい。

ア <sup>おけはざま</sup> 桶狭間の戦い

イ <sup>だいじょうだいじん</sup> 太政大臣

ウ <sup>ごせいはいしきもく</sup> 御成敗式目

エ <sup>にっこうとうしょうぐう</sup> 日光東照宮

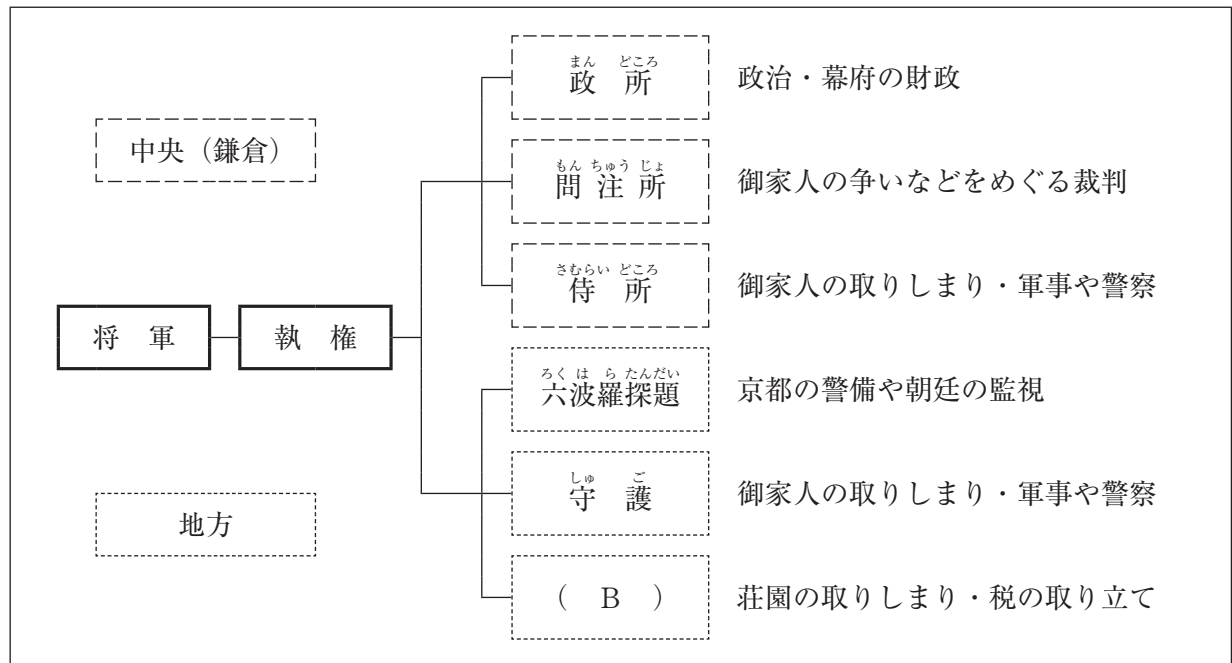
問4 下線部③について，壇ノ浦の場所を，次の図2中のア～エのうちから一つ選びなさい。

図2



問5 下線部④について、次の図3は鎌倉幕府のしくみである。図中の空欄（ B ）にあてはまる役職名を漢字で答えなさい。

図3



問6 下線部⑤について、次の文中の空欄（ C ）と（ D ）にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

将軍は（ C ）として御家人に先祖からの領地の所有を認め、手がらを立てた武士には、新しい領地をあたえました。これに対し、御家人は（ D ）をちかい、戦いがおこれば、「いざ鎌倉」とかけつけました。また、戦いのないときには、鎌倉や京都を守る役目を務めました。このような将軍と御家人の関係を（ C ）と（ D ）といいます。

問7 下線部⑥について、元軍との戦いの後の鎌倉時代の状況として正しいものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 全国200以上の大名を親藩・譜代・外様の三つに分けた。  
 イ 検地と刀狩によって、武士と百姓・町人という身分が区別された。  
 ウ 社会の不安をしずめるために東大寺が建てられた。  
 エ 多くの御家人は、ほうびをもらえず不満がたまった。

問8 下線部⑦について、この時代の文化や芸術として誤っているものを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

- ア 能                      イ 浮世絵                      ウ 狂言                      エ 水墨画

問9 下線部⑧について、足利義政と関係する建築物と建築様式としての正しい組み合わせを、次のア～エのうちから一つ選びなさい。

|      | ア   | イ   | ウ   | エ   |
|------|-----|-----|-----|-----|
| 建築物  | 金閣  | 金閣  | 銀閣  | 銀閣  |
| 建築様式 | 書院造 | 寝殿造 | 書院造 | 寝殿造 |

問10 下線部⑨について、この戦乱は1467年におこり、約11年間続いた。この戦乱名を答えなさい。

問11 カードⅡとⅣ中の二重線部XとYについて、このときの中国の王朝名として正しい組み合わせを、次のア～カのうちから一つ選びなさい。

|   | ア | イ | ウ | エ | オ | カ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| X | 隋 | 隋 | 明 | 明 | 宋 | 宋 |
| Y | 宋 | 明 | 宋 | 隋 | 隋 | 明 |



令和 7 年度

# 入学試験問題解答例

午前入試（国語，算数，理科）

午後入試（国語，算数，理科，社会）

(中 学 校)

令和7年度 中学校 午前入試 国語 解答例

一

(問一) (x) 首 (y) 手 (問二) イ (問三) A エ B カ C イ (問四) a ウ b エ c ア

(問五) イ エ (順不同) (問六) (i) ホンモノ (ii) 自分なりの判断基準を持てるようになる

(問七) ウ (問八) ア (問九) 会うことはできない

(問十) 古典が縁遠いものになってしまいうこと。

(2) 一点目: 「ホンモノ」に感動できる能力を作れないから。

二点目: より豊かな人生を送れないから。

〈順不同〉

二

(問一) 未 (問二) a ア b イ (問三) エ

(問四) 圭子: 徹子が疑われている のに、真実を黙っている ことがつらかったから。

徹子: 自分は無実である のに、犯人だと疑われた ことがつらかったから。

しかたなく

(問五) 自分たちの結婚記念日が西暦何年かを覚えていなかったこと。

(問六) ウ (問七) エ

(問八) 信用する

教師は ことから始めるが、刑事は 疑う ことから始めるというちがひ。

(問十) エ

三

(問一) ア (問二) オ

(問三) 紅潮

(問二) エ (問三) イ

(問一) 経

(問二) キ (問三) ウ

(問三) 規約

(問二) オ (問三) イ

(問一) 因果

(問二) ウ (問三) エ

(問一) 臓器

(問二) 延 (問三) 批評

(問一) 奏

(問二) たい (問三) ざし

(問一) けんあく

(問二) ちょうし

(問三) ひたい

(問一) いんそつ

(問二) けんあく

(問三) ちょうし

令和 7 年度 中学校 午前入試 算数 解答例

|   |     |               |     |     |     |     |
|---|-----|---------------|-----|-----|-----|-----|
| 1 | (1) | $\frac{3}{8}$ | (2) | 2   | (3) | 56  |
|   | (4) | 35            | (5) | 120 | (6) | 100 |
|   | (7) | 42            | (8) | 8   | (9) | 75  |

|   |     |           |     |           |     |                       |
|---|-----|-----------|-----|-----------|-----|-----------------------|
| 2 | (1) | 40, 80    | (2) | 1 時間 30 分 | (3) | 44.56 cm <sup>2</sup> |
|   | (4) | (ア) 354 点 | (イ) | 63 点      | (5) | 59 個                  |

|   |     |       |     |     |     |       |
|---|-----|-------|-----|-----|-----|-------|
| 3 | (1) | 125.6 | (2) | 2.5 | (3) | 75.36 |
|---|-----|-------|-----|-----|-----|-------|

|   |     |        |     |     |     |     |
|---|-----|--------|-----|-----|-----|-----|
| 4 | (1) | (ア) 23 | (イ) | 125 | (ウ) | 225 |
|   | (2) | 803    |     |     |     |     |

|   |     |         |     |                   |     |                   |
|---|-----|---------|-----|-------------------|-----|-------------------|
| 5 | (1) | 13200 円 | (2) | 64 m <sup>3</sup> | (3) | 44 m <sup>3</sup> |
|---|-----|---------|-----|-------------------|-----|-------------------|

令和 7 年度

中学校

午前入試

理科

解答例

1

|     |       |                           |     |         |       |       |       |      |    |
|-----|-------|---------------------------|-----|---------|-------|-------|-------|------|----|
| 問 1 | 気体 X  | 酸 素                       |     | 気体 Y    | 二酸化炭素 |       |       |      |    |
| 問 2 | ———矢印 | 呼 吸                       |     | -----矢印 | 光合成   |       |       |      |    |
| 問 3 | でんぷん  |                           | 問 4 | ( 1 )   | 肺     | ( 2 ) | え ら   |      |    |
| 問 5 | 草食動物  | はやく敵（肉食動物）を見つけて逃げることができる。 |     |         |       |       |       |      |    |
|     | 肉食動物  | えもの（草食動物）をよく見てとらえることができる。 |     |         |       |       |       |      |    |
| 問 6 | ア     | 問 7                       | エ   | 問 8     | ( 1 ) | ア     | ( 2 ) | 0.01 | mg |

2

|     |                               |      |   |       |                                |     |     |                   |
|-----|-------------------------------|------|---|-------|--------------------------------|-----|-----|-------------------|
| 問 1 | C                             | エ    | E | オ     | 問 2                            | 黄 色 | 問 3 | ア                 |
| 問 4 | ( 1 )                         | ア, ウ |   | ( 2 ) | 赤 色                            |     | 問 5 | 水 素               |
| 問 6 | 80            cm <sup>3</sup> |      |   | 問 7   | 160            cm <sup>3</sup> |     | 問 8 | 0.89            g |

3

|     |      |      |   |     |     |      |        |     |     |   |
|-----|------|------|---|-----|-----|------|--------|-----|-----|---|
| 問 1 | 晴 れ  |      |   |     |     |      |        |     |     |   |
| 問 2 | あ    | へん西風 |   | い   | 西   |      | う      | 東   |     |   |
| 問 3 | ひまわり |      |   |     |     |      |        |     |     |   |
| 問 4 | ①    | 陸    |   | ②   | 低   |      |        |     |     |   |
|     | ③    | 海    |   | ④   | 陸   |      | ⑤      | 海   |     |   |
| 問 5 | ①    | 季節風  |   | ②   | 台 風 |      |        |     |     |   |
| 問 6 | A    | イ    | B | ウ   | C   | ア    | 問 7    | ア   | 問 8 | ウ |
| 問 9 | 積乱雲  |      |   | 問10 | 毎秒  | 17.2 | メートル以上 | 問11 | エ   |   |

4

|     |      |     |     |         |   |     |   |     |   |   |   |   |
|-----|------|-----|-----|---------|---|-----|---|-----|---|---|---|---|
| 問 1 | 電磁石  | 問 2 | エ   | 問 3     | エ |     |   |     |   |   |   |   |
| 問 4 | 電    | 流   | の   | 向       | き | を   | 反 | 対   | に | す | る | 。 |
| 問 5 | B, C |     | 問 6 | A, B, C |   | 問 7 | ⑤ | 問 8 | イ |   |   |   |

# 令和 7 年度 中学校 午後入試 適性問題（国語） 解答例

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|

令和 7 年度 中学校 午後入試 適性問題（算数） 解答例

1

|     |   |               |
|-----|---|---------------|
| (1) | ア | 4.3           |
| (2) | イ | ⑥             |
| (3) | ウ | 280           |
| (4) | エ | ①, ②, ⑦, ⑪, ⑬ |

2

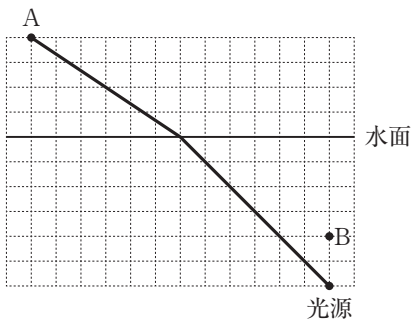
|     |                            |    |   |    |   |   |
|-----|----------------------------|----|---|----|---|---|
| (1) | 2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19 |    |   |    |   |   |
| (2) | ア                          | 13 | イ | 5  | ウ | 8 |
| (3) | エ                          | 2  | オ | 17 |   |   |

令和 7 年度 中学校 午後入試 適性問題（理科） 解答例

1

|     |   |       |   |     |   |        |
|-----|---|-------|---|-----|---|--------|
| 問 1 | ① | 上 流   | ② | せまく | ③ | けわしい谷  |
|     | ④ | 速 い   | ⑤ | しん食 | ⑥ | たい積    |
|     | ⑦ | 遅 い   |   |     |   |        |
| 問 2 | ⑧ | 2.5 g | ⑨ | 5 回 | ⑩ | 1750 g |
| 問 3 | ⑪ | 火 山   |   |     |   |        |

2

|     |                                                                                     |                                                                                  |     |     |     |           |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----------|
| 問 1 | (1)                                                                                 | 赤 色 の 光 が 反 射 し て 、 赤 色 以 外 の 光 は<br>色 紙 に 吸 収 さ れ て い る 。                       |     |     |     |           |
|     | (2)                                                                                 | 反 射 す る 光 は な く 、 全 て の 光 が 色 紙 に<br>吸 収 さ れ て い る 。                             |     |     |     |           |
| 問 2 |  |                                                                                  |     |     |     |           |
| 問 3 | ①                                                                                   | 増 加                                                                              | ②   | 増 加 | ③   | 空 気 の 体 積 |
| 問 4 | (1)                                                                                 | ①                                                                                | 減 少 | ②   | 増 加 |           |
|     | (2)                                                                                 | フ ラ ス コ の 容 積 も 水 の 体 積 も 増 加 し た が 、<br>水 の 体 積 の 増 加 量 の 方 が 大 き く な っ た か ら 。 |     |     |     |           |
|     | (3)                                                                                 | エ                                                                                |     |     |     |           |

令和 7 年度 中学校 午後入試 適性問題（社会） 解答例

1

|     |     |     |     |   |     |     |          |     |     |   |
|-----|-----|-----|-----|---|-----|-----|----------|-----|-----|---|
| 問 1 | カ   |     | 問 2 | ウ |     |     |          |     |     |   |
| 問 3 | (Ⅰ) | 公 助 |     |   | (Ⅱ) | 自 助 |          | (Ⅲ) | 共 助 |   |
| 問 4 | オ   |     | 問 5 | ア |     |     |          |     |     |   |
| 問 6 | 季   | 節   | に   | よ | っ   | て   | 、        | 決   | ま   | っ |
|     | た   | 方   | 向   | に | ふ   | く   | 風        | 。   |     |   |
| 問 7 | オ   |     | 問 8 | ア |     | 問 9 | トレーサビリティ |     |     |   |

2

|     |          |     |    |   |     |     |     |   |   |   |   |   |   |   |  |
|-----|----------|-----|----|---|-----|-----|-----|---|---|---|---|---|---|---|--|
| 問1  | 中臣（藤原）鎌足 |     |    |   |     |     |     |   |   |   |   |   |   |   |  |
| 問2  | 自        | 分   | の  | 娘 | を   | 天   | 皇   | と | 結 | 婚 | さ | せ | た | 。 |  |
| 問3  | イ        |     | 問4 | エ |     | 問5  | 地 頭 |   |   |   |   |   |   |   |  |
| 問6  | (C)      | 御 恩 |    |   |     | (D) | 奉 公 |   |   |   |   |   |   |   |  |
| 問7  | エ        |     | 問8 | イ |     | 問9  | ウ   |   |   |   |   |   |   |   |  |
| 問10 | 応仁の乱     |     |    |   | 問11 | カ   |     |   |   |   |   |   |   |   |  |



